INAX

Shower toilet

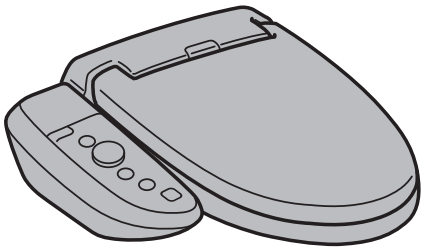
取扱説明書

保証書別添

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。
※ この説明書は、CW-K41 型、CW-K43 型共通の
ものです。

シャワートイレ
K シリーズ

CW-K43 型・CW-K41 型
CW-K43Q 型・CW-K41Q 型



袋:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

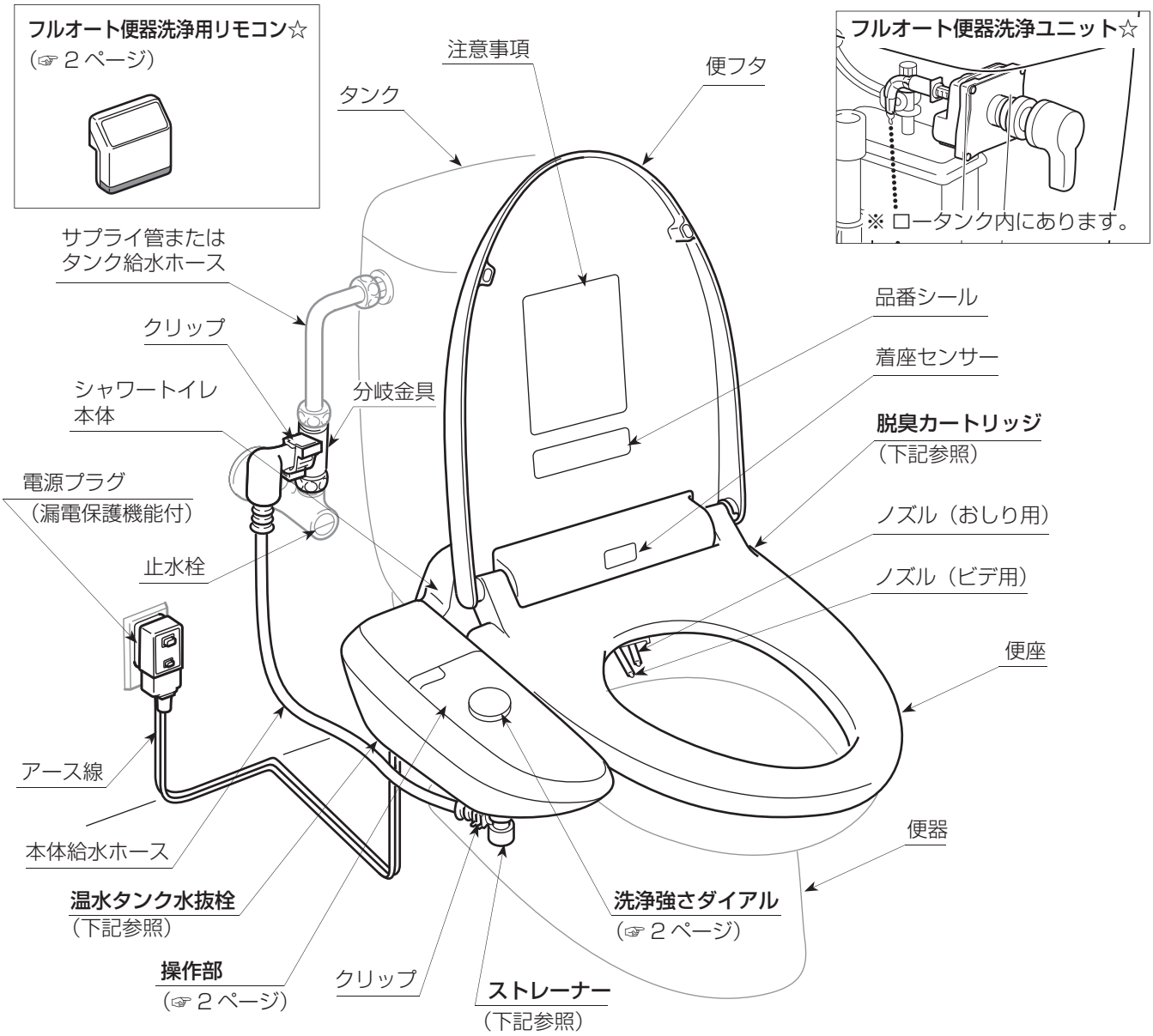
もくじ

各部のなまえ		1
安全上の注意		3
お取り扱い上の注意		7
重大事故防止のためのお願い		8
お使いになる前に確認してください		9
ご使用方法		
●ご使用前の準備	(電源・温水)	11
	(便座)	12
●基本機能の使いかた	(おしり・ビデ・ワイド洗浄)	13
	(おしりマッサージ・洗浄位置調節)	14
	(乾燥・脱臭)	15
	(スーパーノズルクリーニング)	16
●快適機能の使いかた	(節電)	17
	(フルオート便器洗浄)	18
	(より快適な機能)	19
●知っておいていただきたいこと		21
お手入れ方法		
●日頃のお手入れ		23
●便フタの外しかた(便フタまわりの隠れた部分の掃除)		25
●脱臭効果が弱くなった場合		26
●本体で隠れた便器部分を掃除します		27
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら		29
●電源プラグ (漏電保護機能付) の点検		30
●定期的な部品交換のお願い		30
●リモコンの電池交換		31
長期間使用しない場合		32
冬期凍結の恐れがある場合		33
修理を依頼される前に		
●故障かなと思ったら		35
安全・安心にお使いいただくために		42
アフターサービス		45
仕様		47
別売品のご案内		48

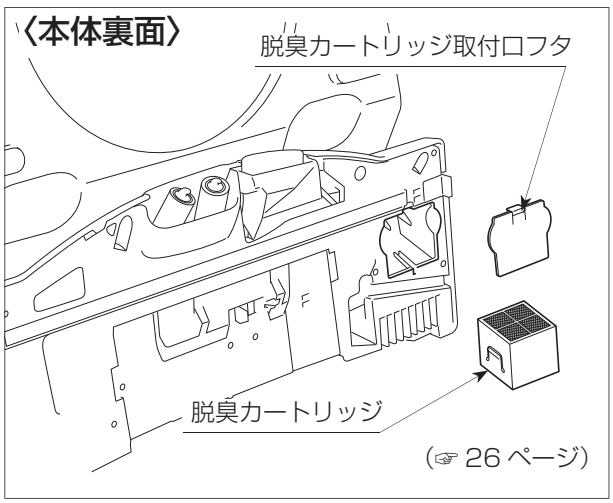
各部のなまえ

■全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

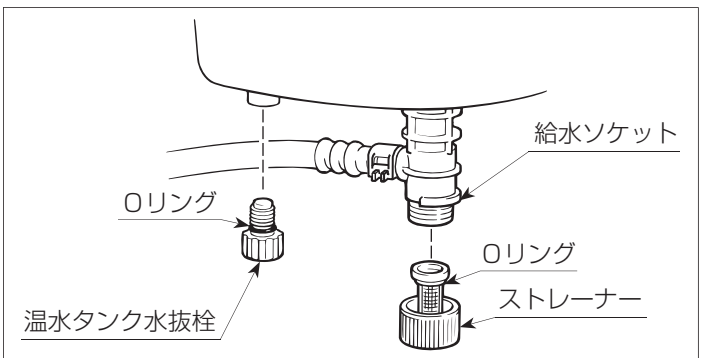


■脱臭カートリッジ



（☞ 26 ページ）

■ストレーナー、温水タンク水抜栓



※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。
（☞ 32 ページ）

■操作部

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

止

●おしり洗浄●ビデ洗浄●乾燥〈乾燥付の場合〉の動作を止めます。

ノズルそうじ

止スイッチを２秒以上押し続けると、ノズルをそうじします。（☞ 16 ページ）

おしり

おしりを洗うときに使用します。再度スイッチを押すとワイド洗浄になります。（☞ 13 ページ）

ビデ

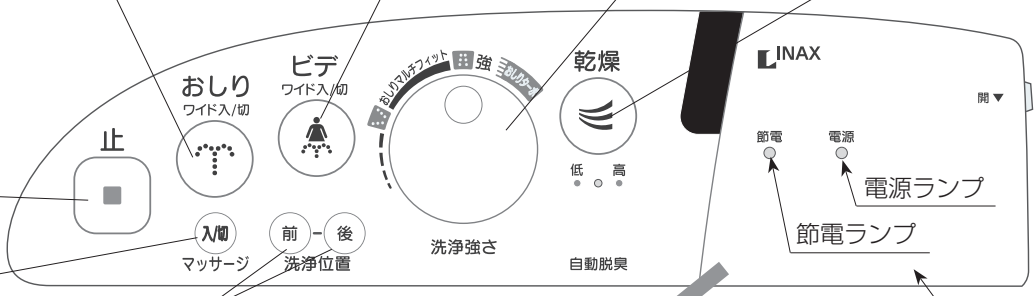
ビデ洗浄のときに使用します。再度スイッチを押すとワイド洗浄になります。（☞ 13 ページ）

洗浄強さダイアル

おしり洗浄、ビデ洗浄の洗浄強さを調節します。（☞ 13 ページ）

乾燥 ★

ぬれた部分を乾かすときに使用します。（☞ 15 ページ）



マッサージ

洗浄強さの強弱が繰り返されます。（☞ 14 ページ）

洗浄位置

洗浄位置を調節します。（☞ 14 ページ）

フタを外側から開けます。

フタ

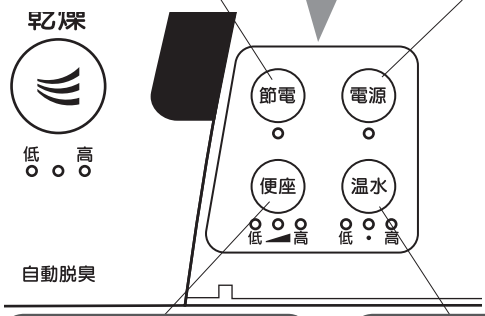
■副操作部

節電

便座と温水の温度を下げて節電します。（☞ 17 ページ）

電源

シャワートイレ本体の電源を入 / 切します。（☞ 11 ページ）



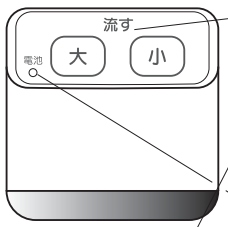
便座

暖房便座の温度を調節します。（☞ 12 ページ）

温水

温水温度を調節します。（☞ 11 ページ）

■フルオート便器洗浄用リモコン



流す ★

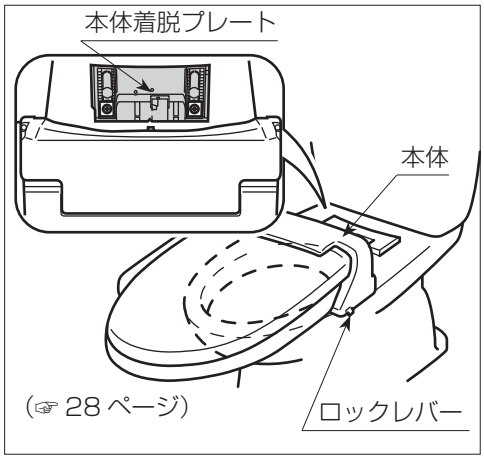
便器洗浄をするときに使用します。（☞ 18 ページ）

電池ランプ

電池の寿命が近づくと消灯から点滅に替わります。（☞ 22 ページ）

※ CW-K43Q、K41Q 型の場合、どちらかのリモコンが付いています。

■本体着脱プレート



（☞ 28 ページ）

●保有機能一覧（あり：○、なし：—、オプション：△）

機　　能	CW-K43 型	CW-K43Q 型	CW-K41 型	CW-K41Q 型
おしり・ビデ洗浄	○	○	○	○
温　風　乾　燥	○	○	—	—
フルオート便器洗浄	—	○	—	○
プラズマクラスター	△（注 1）	△（注 1）	—	—
部　屋　暖　房	△（注 1）	△（注 1）	—	—

※ 品番は、便フタ裏の品番シールに記載されています。（☞ 1 ページ）

※ オプションにつきましては、別売品のご案内を（☞ 48 ページ）ご参照ください。

注 1：プラズマクラスターと部屋暖房の併用はできません。（CW-K43、K43Q 型の場合）

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・ この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。

注意 ・・・・ この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

・・・・ この表示は「注意しなさい！」の記号です。（上記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 ・・・・ この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行 ・・・・ この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

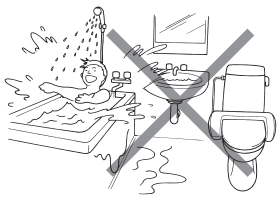
指示実行

●乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕〈乾燥付の場合〉
※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

指示実行

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
※感電・火災の原因になります。

水場使用禁止



修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

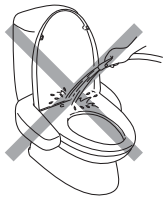
分解禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。

禁止

⚠警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。



水かけ禁止

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
（33・34 ページ参照）
※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

指示実行

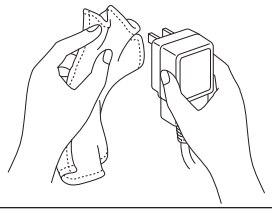
シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。
※感電・火災・漏水の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※感電・火災・室内浸水の原因となります。

指示実行

電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。
※ホコリが火災の原因になります。



指示実行

電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。

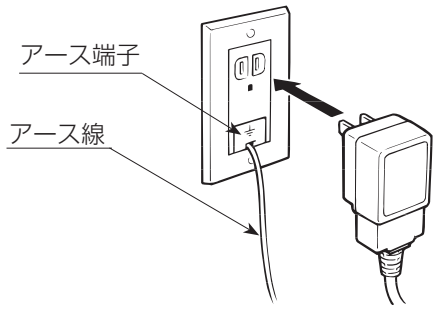
指示実行

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。

ぬれ手禁止

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

アース接続

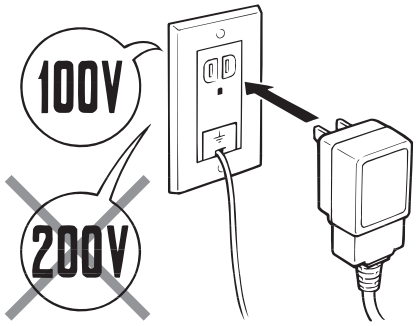


電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

禁止

●交流 100V 以外では使用しないでください。
●タコ足配線はしないでください。
※ 火災の原因になります。

禁止



⚠ 警告

電池は以下の事を守り、正しく使用してください。

指示実行

- ●⊕⊖を正しく入れてください。
- ●長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- ●使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
- ●電池を破棄する時は、テープなどで絶縁を行ってください。

※電池の液もれにより火災の原因となります。

- ●乳幼児の手の届く場所には置かないでください。

※誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- ●電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- ●液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。

※失明の恐れがあります。医師に相談してください。

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。

禁止

- ●金属製のもの（ネックレス・ヘアピン等）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。
- ●新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- ●過熱・分解したり、水や火の中に入れたりしないでください。

※電池の液もれにより火災の原因となります。

⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

禁止

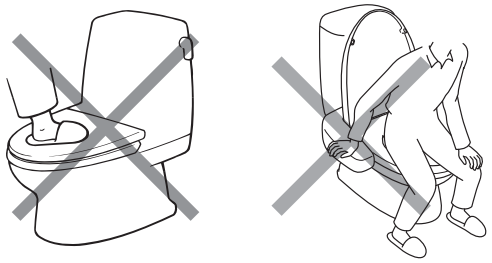
※プラスチック部が割れてケガの原因になります。

※ 感電・火災の原因になります。

便フタや本体および操作部の上に乗ったり、手をついて立ち座りなどしないでください。

禁止

※ 破損やケガの原因となります。



- ●温風吹出口に触れないでください。
- ●温風吹出口の前に燃えやすい物をおかないでください。

〈乾燥付の場合〉

禁止

※ 高温になるため、ヤケド・火災の原因になります。

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。（32 ページ参照）

指示実行

※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

※水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

⚠注意

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

接触禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

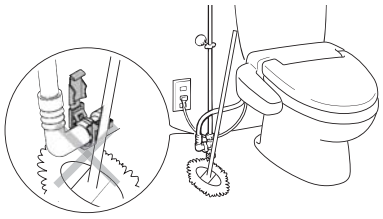
禁止

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。
※部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

清掃時等、クリップに衝撃を与えたり、引っかけたりしないでください。
※ クリップの破損等により給水ホースが外れ、室内浸水の原因となります。

禁止



便フタにもたれないでください。
※ケガをしたり、破損したりすることがあります。

禁止

水道水以外に接続しないでください。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

禁止

お掃除のときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※感電の恐れがあります。

指示実行

タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※火災の原因になります。

火気禁止

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。
※ ケガの原因になります。

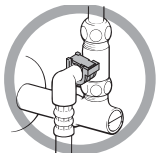
禁止

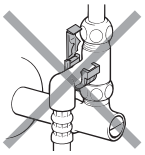
●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

指示実行

クリップは給水ホースに、確実にはまっていることを確認してください。
※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。

指示実行





止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

禁止

便器に熱湯をそそがないでください。
また、衝撃を与えないでください。
※破損や漏水の原因になります。

禁止

次のような方が使用されるときには、周りの方が転倒に注意してください。
〔お子さま、お年寄り、ご自分で座ることや立ち上がることができない方〕
※ケガをしたり、破損したりすることがあります。

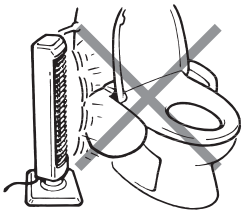
指示実行

お取り扱い上の注意

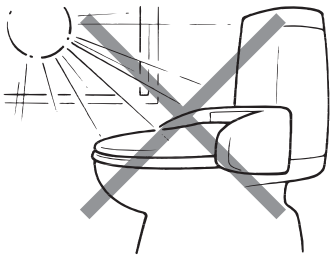
■故障を起こさないために守ってください。

凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。(☞ 33、34 ページ)

シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※**変色や故障の原因**になります。

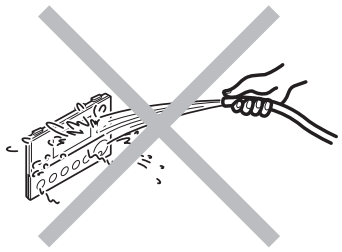


直射日光が当たらないようにしてください。
※プラスチック部が変色することがあります。

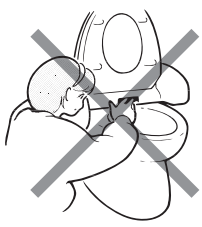


便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。

リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※**故障の原因**となることがあります。



絶対に温風吹出口をふさがないでください。
※**故障の原因**になることがあります。
〈乾燥付の場合〉



本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
※傷つきの原因になります。
詳しいお手入れ方法は 23,24 ページをご覧ください。

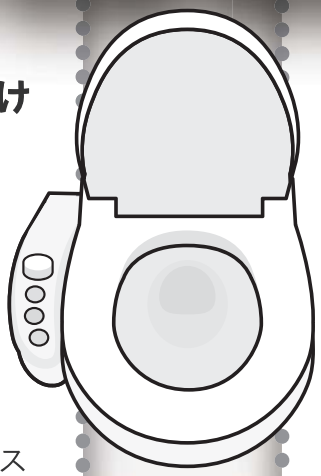
プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
※光沢が無くなることがあります。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※故障の原因になります。

〈フルオート便器洗浄付の場合〉
洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、流れっ放しになる場合があります。
その際は、洗浄ハンドルを戻してください。
(☞ 22 ページ)

温水洗浄便座　**重大事故防止のためのお願い**

温水洗浄便座は電気製品で寿命があります



故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**になります。異常に気づいたら、**電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。	酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。	電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト　**症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちに販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。**

便座・便座コード　便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 本体や便座にひびや割れがありませんか？　ゴム足は外れていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- □ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ　電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 電源コードが熱くなっていませんか？　傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- □ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？

水漏れ　水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- □ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

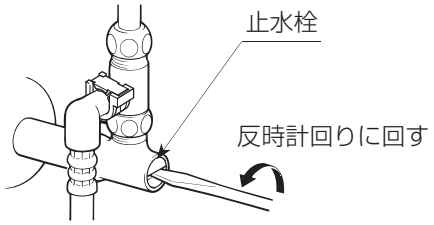
温水洗浄便座協議会　後援 経済産業省
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18　http://www.sanitary-net.com
フリーダイヤル 0120-39-7718　受付時間　平日09:00～17:00

お使いになる前に確認してください

シャワートイレをはじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

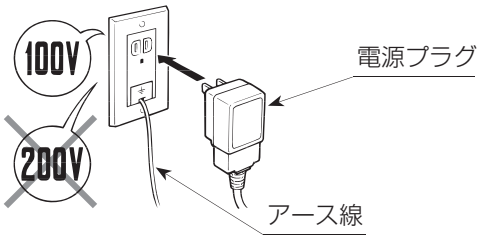
1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。



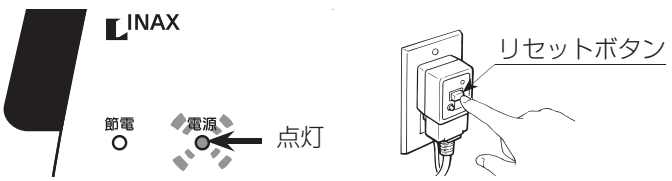
2 アース線の接続を確認し、電源プラグをコンセントに接続します。

1. アース線がコンセントのアース端子に接続してあることを確認します。
2. 電源プラグを交流 100V のコンセントに差し込みます。

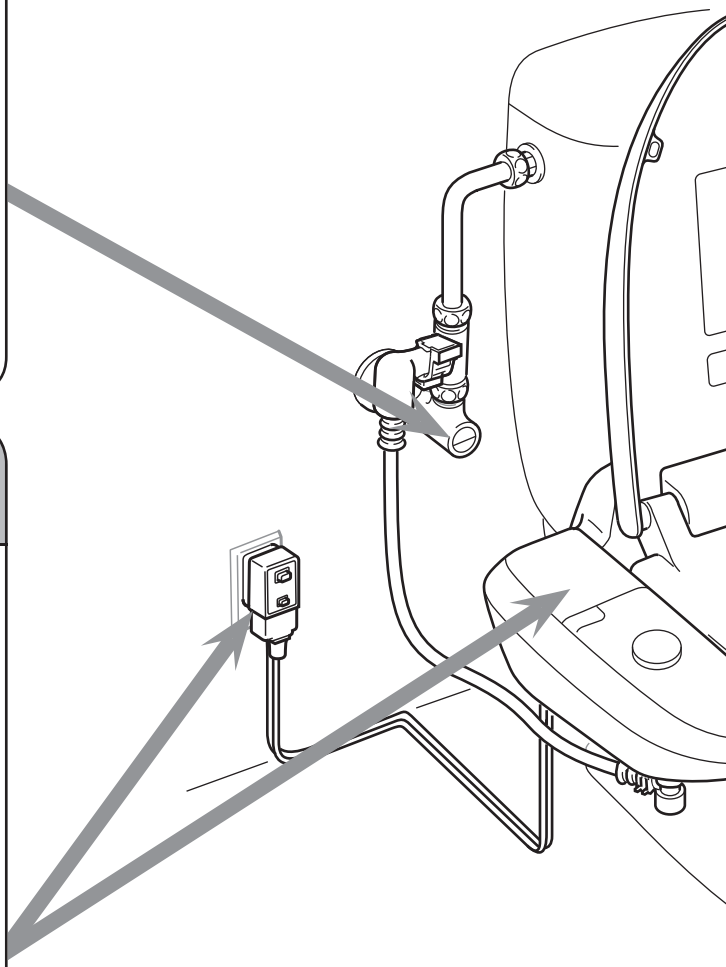


3. 副操作部フタの電源ランプが点灯していることを確認します。
   副操作部フタの電源ランプ（緑）が点灯します。
   もし、電源ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。

注意 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。



※電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。



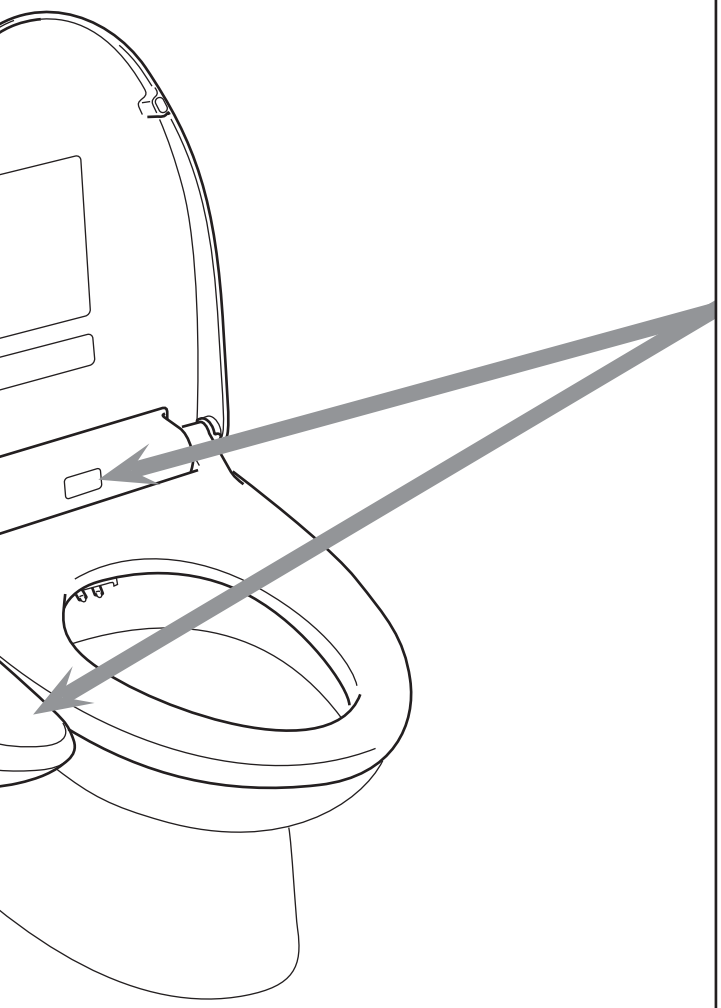
⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

⚠ 警告

- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。

※ 火災の原因になります。



3 おしり洗浄を確認します。

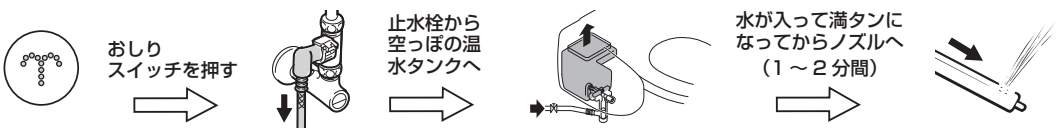
1. **着座センサーを紙や布で覆います。**
   （着座センサーを ON にします。）
   ※ ノズル付近から水が出ることがあります。
   最初に水が出るのは構造上、必要な動作です。
2. **洗浄ダイアルを「強」側に回し、おしりスイッチを押します。**
3. **ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。（1 ～ 2 分後）**

4. **シャワーを止めるときは、止スイッチを押します。**
   ご使用方法 (11 ページ以降) をご覧になって他の機能も確認してください。
5. **着座センサーを覆っていた紙や布は、確認後、必ず取り去ってください。**

※ 人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥〈乾燥付の場合〉は、着座していないと作動しません。

シャワーが出るまで 1 ～ 2 分かかります。

温水タンクに水がたまるまで 1 ～2分かかります。水が出るまでは着座センサーを ON に保ってください。着座センサー ON のまま洗浄強さを最強にして、おしりスイッチを押してください。



ご使用方法

《ご使用前の準備》

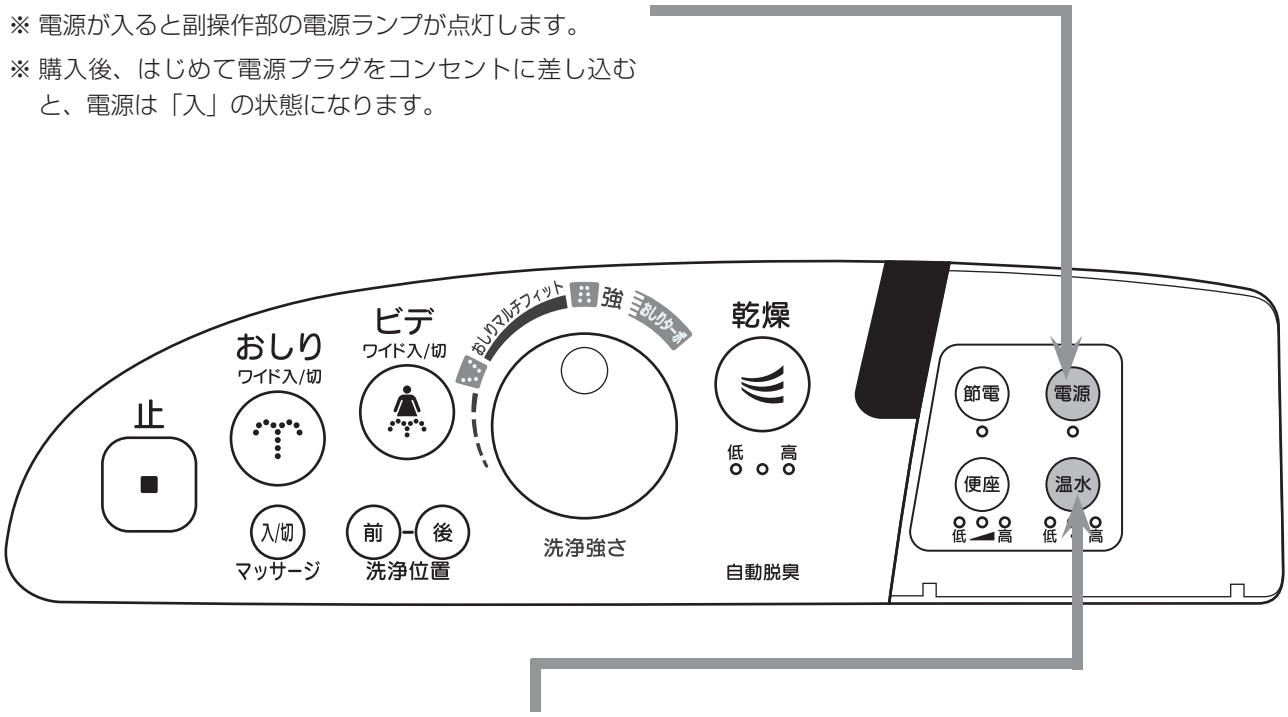
シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入ると副操作部の電源ランプが点灯します。

※ 購入後、はじめて電源プラグをコンセントに差し込むと、電源は「入」の状態になります。



■温水（シャワーの温めかた）

温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ シャワーはすぐには温まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

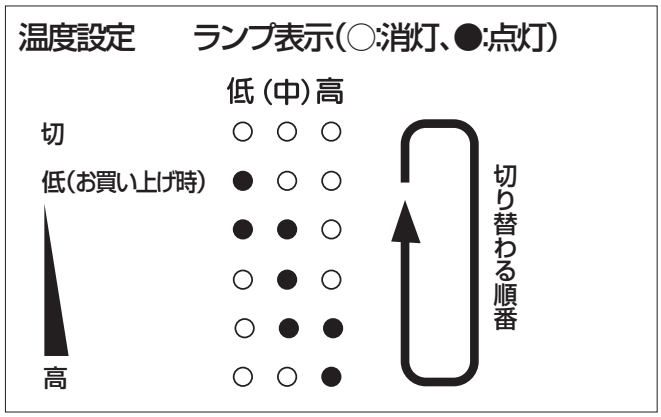
※ スイッチを押すごとに「低」から「切（消灯）」→「高」→「(中)」→「低」と表示が切り替わります。

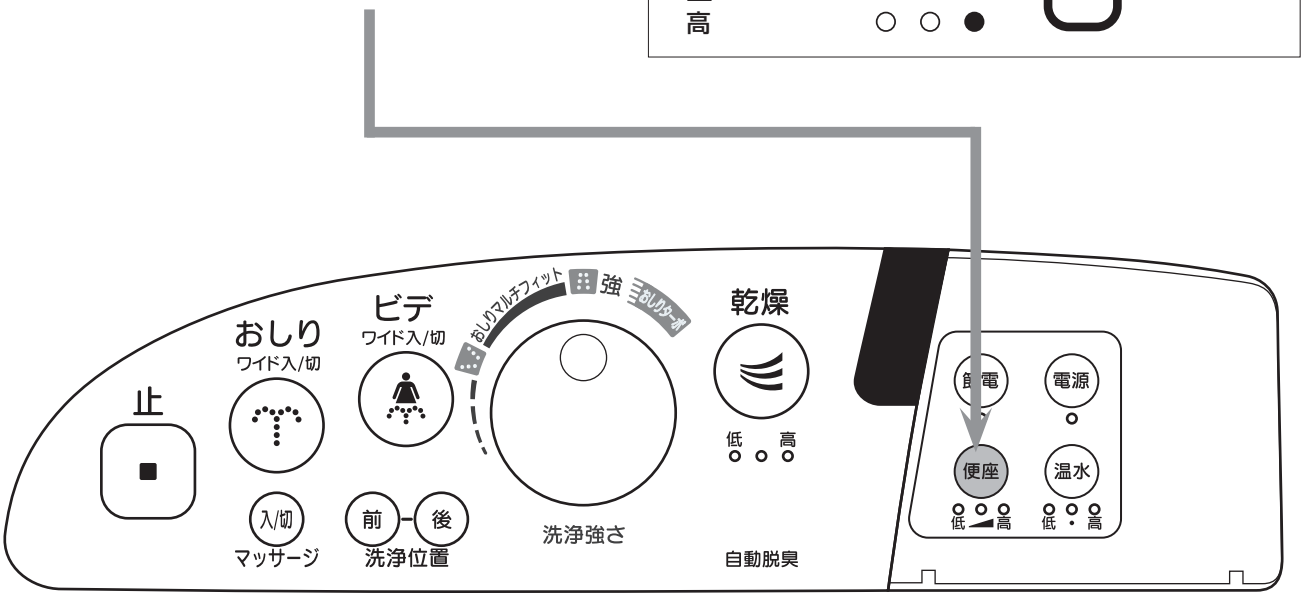
■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
※ スイッチは 6 段階あり、押すごとに「低」から「切（消灯）」→「高」→…→「低」と表示が切り替わります。





参考
● 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。（☞ 19 ページ参照）

⚠ 警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

《基本機能の使いかた》

■おしり洗浄

1 おしりスイッチを押します。
（もう一度押すとワイド洗浄*になります。）

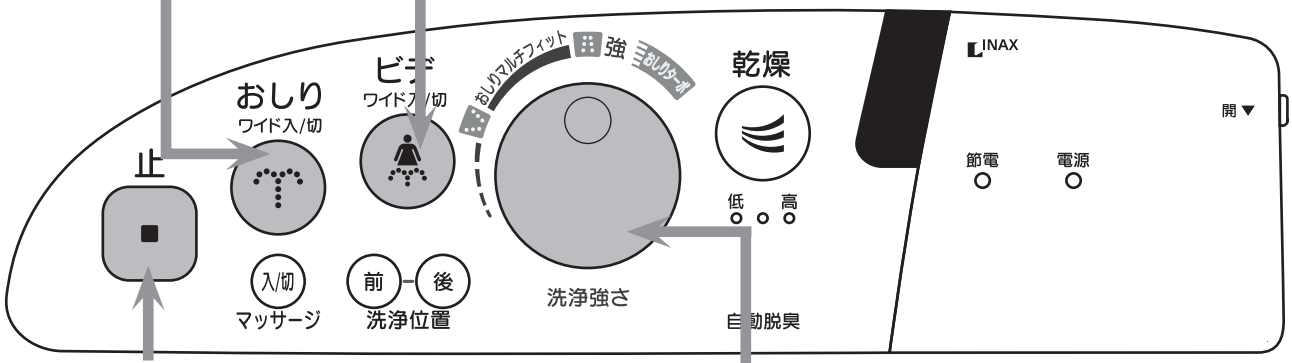
ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

■ビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。
（もう一度押すとワイド洗浄*になります。）

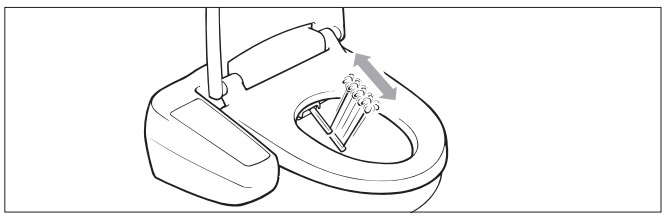
ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。

※ シャワーに空気を混入させ、よりソフトに洗浄します。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。



＊ワイド洗浄とは
おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

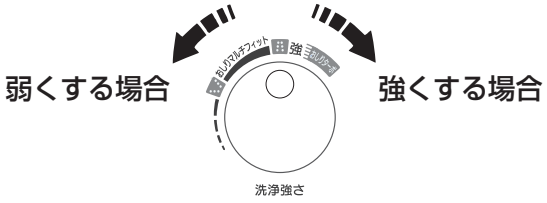
※ ワイド洗浄を止めるときは、再びおしり（またはビデ）スイッチを押します。

※ ノズルオートクリーニングについて
おしり・ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

参考

洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーを最弱にする機能が付いています。
（☞ 19 ページ参照）

2 洗浄強さダイアルを回してシャワーの強さを調節します。



※ おしり洗浄の場合、洗浄面積と強さのバランスを効果的に調節する新洗浄を採用しています。お好みの洗浄感をお選びください。
おしりマルチフィットのエリア内でダイアルを強めると細く勢いのある洗浄に、弱めると広くソフトな洗浄感になります。

※ ターボ洗浄にする場合、洗浄強さダイアルを、「おしりターボ」側に回します。「強」の表示を超えるとターボ洗浄に切り替わります。

注意

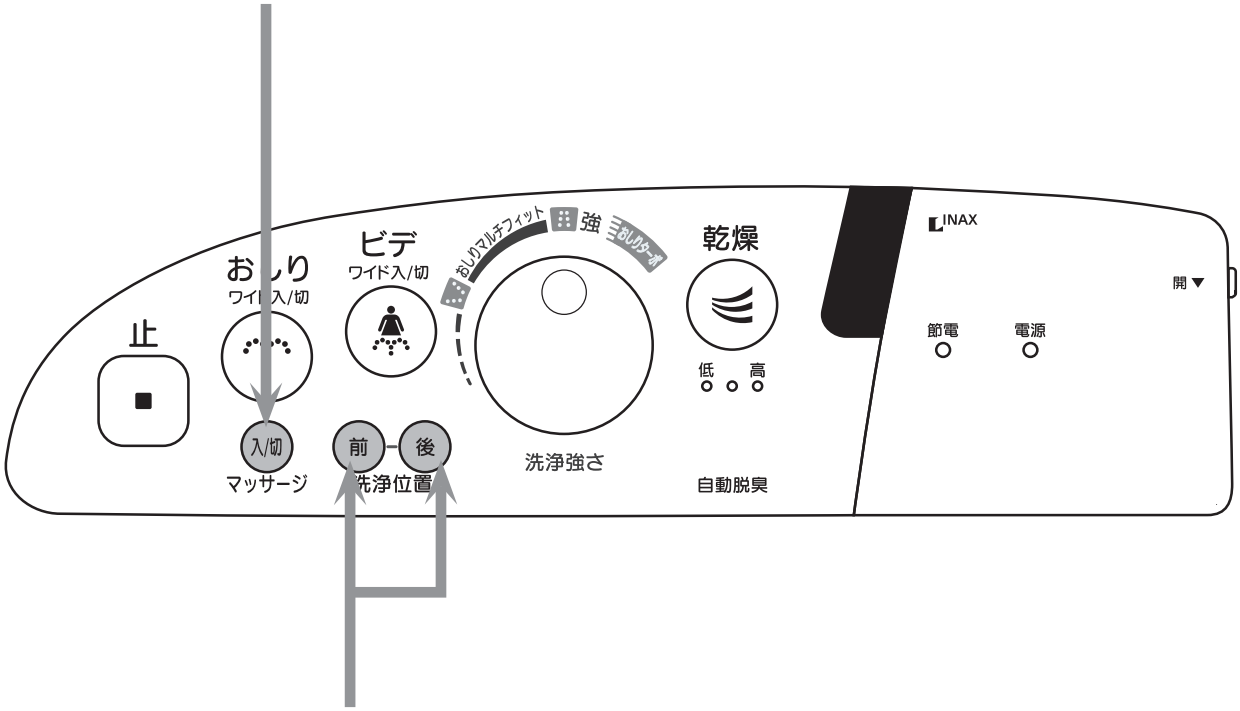
- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。

■おしりマッサージ洗浄

1 おしり洗浄中にマッサージスイッチを押します。

おしり洗浄中、洗浄強さの強弱を繰り返してマッサージ洗浄を行います。
※マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

2 止めるときは再びマッサージスイッチを押します。

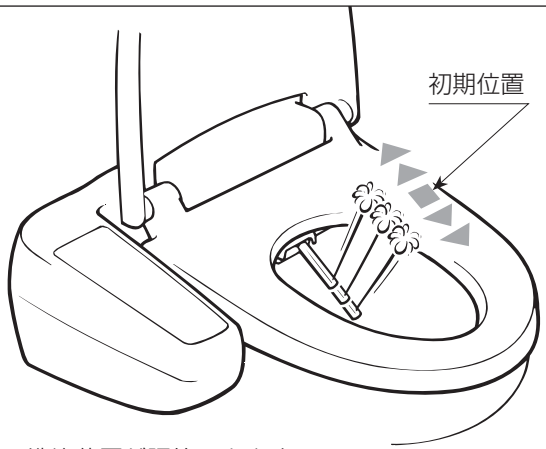


■洗浄位置の調節

洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を全５段階に調節することができます。
（初期位置、前２段、後２段の計５段）

※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。



※洗浄位置が調節できます。

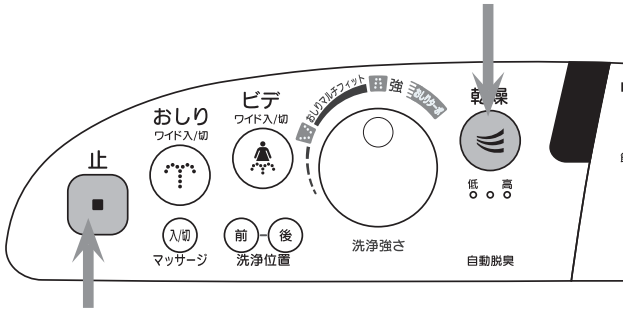
■乾燥

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 乾燥スイッチを押します。

温風がでてきて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

※ 乾燥を使用している時は一時的に脱臭が止まります。



2 温風温度を変えるときは再度乾燥スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ スイッチを押すごとに「中」から「高」→「低」→「中」と表示が切り替わります。

3 止めるときは止スイッチを押します。

※ 温風乾燥は、4 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

⚠ 警告

- 乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
  〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕〈乾燥付の場合〉

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

指示実行

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度が「中」から始まるパターンを「高」や「低」から始まるパターンに切り替える“温風始動温度の切替え”機能が付いています。（☞ 20 ページ参照）

■脱臭

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ 脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

※ 乾燥〈乾燥付の場合〉を使用しているときは、一時的に脱臭が停止します。

2 便座から立ち上がります。

※ 脱臭ファンの能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

※ 立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。（☞ 26 ページ）

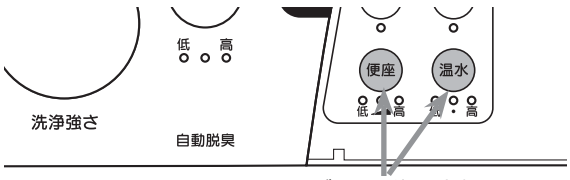
■脱臭を使用しない場合

●操作方法

便座スイッチと温水スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

※ セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅し、脱臭ファンは作動しなくなります。

※ 再び、使用する場合も便座スイッチと温水スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。



同じタイミングで 2 秒以上押します。

不適切な便フタカバーをご使用の場合、着座センサーに布が掛かり、脱臭ファンが回りっぱなしになる恐れがあります。
当社指定の便フタカバーをご使用ください。（☞ 48 ページ参照）

■スーパーノズルクリーニング

スーパーノズルクリーニングには、好きなときにノズルを洗う“**強制洗浄**”、おしり・ビデ洗浄前に、自動的にノズル周辺をぬらしておくことで汚れを付きにくくする“**プレ洗浄**”、おしり・ビデ洗浄後に自動的にノズルやその周辺を幅広く洗う“**オートクリーニング**”があります。

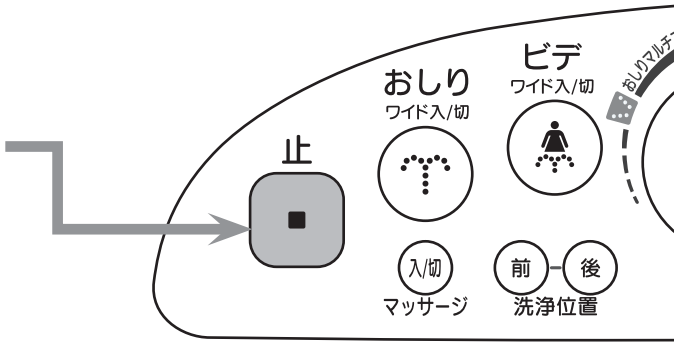
スーパーノズルクリーニングでは、従来のノズルそうじ機能より、より広く効果的にノズルを洗浄します。

強制洗浄

止スイッチを 2 秒以上押し続けます。

ノズルが本体に収納されたまま約 5 秒間洗浄します。このときノズルの奥から水が出て、ノズルを洗います。

※ ノズルを引き出してご自分でも掃除できます。
（☞ 24 ページ参照）



■プレ洗浄をやめるとき

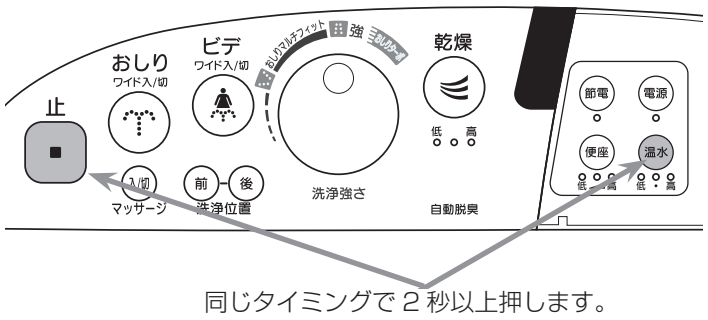
●操作方法

止スイッチと温水スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）

おしり・ビデ洗浄前にノズル洗浄を行わなくなります。

再び、使用する場合も止スイッチと温水スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

※ オートクリーニング機能は働きます。



同じタイミングで 2 秒以上押します。

《快適機能の使いかた》

■節電

節電機能には**スーパー節電**と**ワンタッチ節電**の２種類があります。

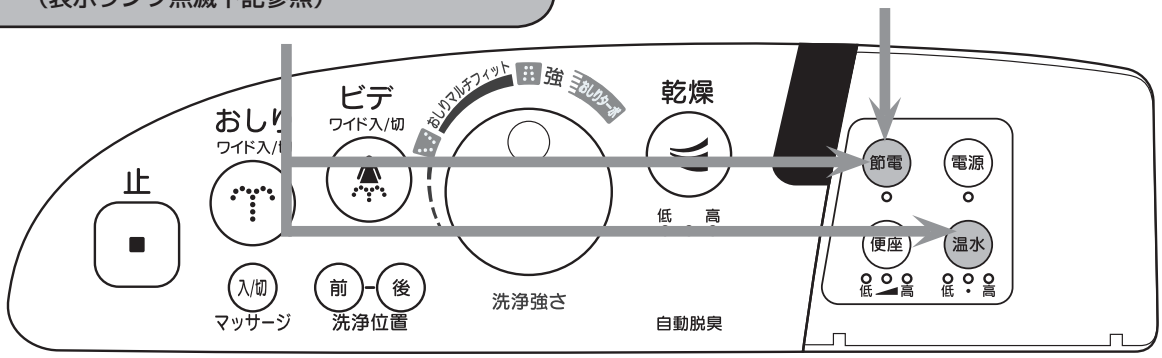
1. スーパー節電：　便フタを閉じている時は、温水と便座の温度を下げて、消費電力を抑える節電です。

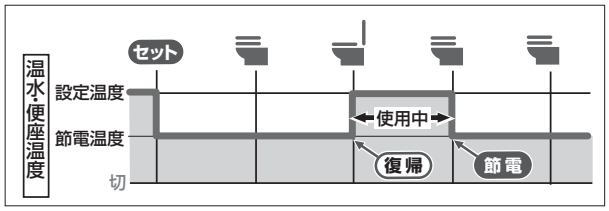
2. ワンタッチ節電：　長時間使用しない夜間などスイッチを押してから８時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。８時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電を併用することで、効果的な節電が行えます。

1. スーパー節電（常時）

1 節電スイッチと温水スイッチを同じタイミングで２秒以上押し続けます。
（表示ランプ点滅下記参照）





※ 便フタが閉じている間は常に節電しています。スーパー節電が作動しているときは、節電ランプが 0.3 秒間隔で２回ずつ点滅します。

※ ワンタッチ節電と併用した場合、節電ランプはワンタッチ節電と同様に点灯となります。

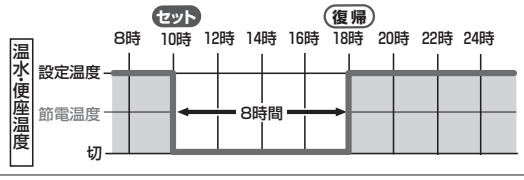
※ 便フタが開いている間は、一時的に節電は解除されますが、節電ランプは点滅します。

2 解除するときは、再び節電スイッチと温水スイッチを同じタイミングで２秒以上押し続けます。（節電ランプ消灯）

2. ワンタッチ節電（8 時間）

1 節電スイッチを押します。
（表示ランプ点滅下記参照）
※便座と温水表示ランプは消灯します。

（例）10 時にセットした場合



※ ワンタッチ節電が作動しているときは、節電ランプが点灯します。

※ ８時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、節電ランプは点灯から消灯に切り替わります。

※ ワンタッチ節電は１日に、何度でも使用できます。

※ ワンタッチ節電中に、便座と温水の温度設定を変更することはできません。（各スイッチを押すと２～３秒間点灯しますが、すぐに消灯します。）

2 解除するときは、再び節電スイッチを押します。（節電ランプ消灯）

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。

※ 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

■フルオート便器洗浄（自動便器洗浄）

※機種によっては、この機能がない場合があります。

自動便器洗浄には 2 通りの方法があります。

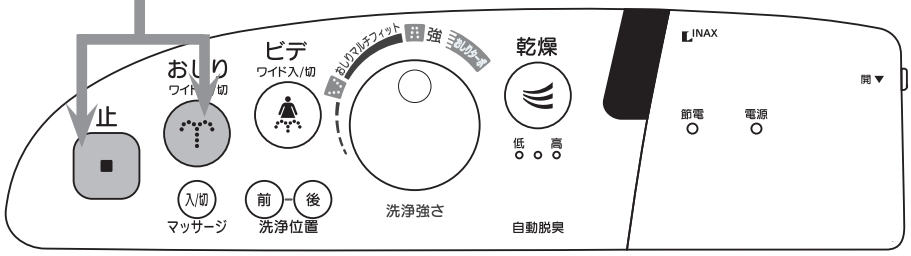
1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う **“フルオート便器洗浄”**。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う **“リモコン便器洗浄”**。

1. フルオート便器洗浄のしかた

お買い上げ時は、「入」の状態になっています。

1 使用しないときは、止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

2 使用したいときは、再度止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。



※ 大小洗浄便器（リモコンに「大」「小」スイッチがある場合）において、フルオート大小洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。また、大のみ洗浄便器の場合は、常に「大洗浄」になります。

※ フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 20 ページ参照）

注意

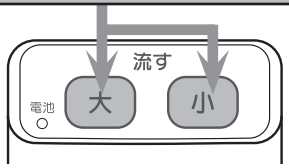
- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコンまたは手動洗浄にて再度洗浄してください。
- フルオート便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。
  ※ 洗浄水が流れっ放しになります。

2. リモコン便器洗浄のしかた

■大小洗浄便器の場合

※ 小ホールド洗浄タイプの便器にこのシャワートイレを取り付けた場合、右記の「大のみ洗浄便器の場合」となります。

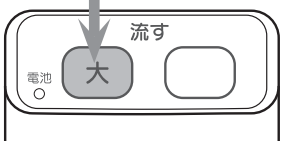
「大」：大便時に押します。
「小」：小便時に押します。



※ 大便時に「小」スイッチを押すと、汚物が流れないことがあります。

■大のみ洗浄便器の場合

便器洗浄時に「大」または「流す」スイッチを押します。



※ 小（ショー）の点字がありますが、大のみ洗浄便器の場合、このスイッチは使用できません。
目の不自由な方がご使用になられる場合は、その旨ご説明ください。

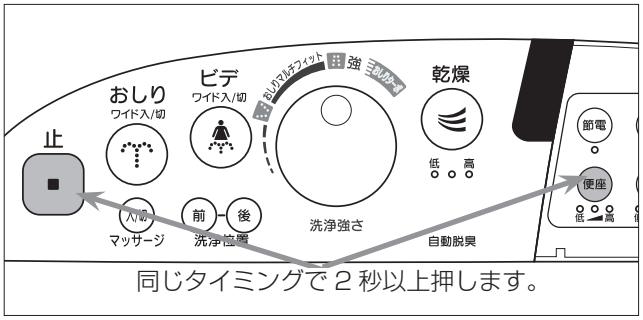
注意

- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で使用されますと紙が流れない場合がありますので「大」の方でご使用ください。
- 一回目の便器洗浄から間をおかずに二回目を行うと、洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから手動洗浄にて洗浄を行ってください。

■より快適な機能

便座ヒーターオートOFFについて

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。下記の要領でセットしてください。



同じタイミングで２秒以上押します。

■セットおよび解除方法

- ●止スイッチと便座スイッチを同じタイミングで２秒以上押し続けます。（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）
- ●解除も同じ方法で行います。

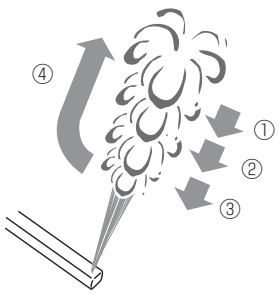
※ この機能をセットしているときに、着座すると、便座の表示ランプが消灯します。
※ この機能をセットしているときに、連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります
※ 立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。

洗浄強さをさらに弱くしたい方のために

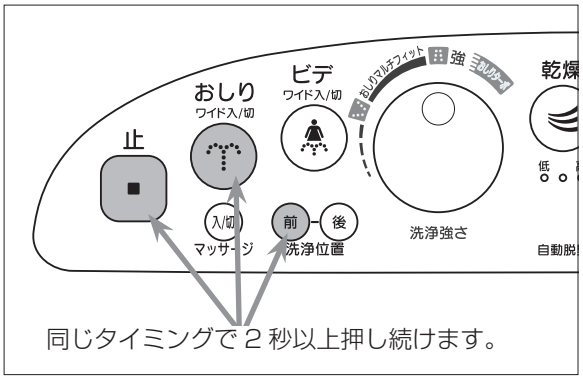
おしり洗浄・ビデ洗浄を「弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。

■調節方法

- ●止スイッチとおしりスイッチ、洗浄位置の前スイッチの３個を同じタイミングで２秒以上押し続けます。便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅して１段弱くなります。
  弱くする設定は３段階ありますのでお好みの強さに調節してください。



押すたびに洗浄強さが１段階ずつ弱くなり、４回押すと元に戻ります。



同じタイミングで２秒以上押し続けます。

※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとシャワーが届かないことがありますのでご注意ください。

- ●元に戻す場合は再度、止スイッチとおしりスイッチ、洗浄位置の前スイッチを同じタイミングで２秒以上押し続ける操作を繰り返します。合計４回目に元に戻ります。
  ※一段階弱くした場合は３回操作し、二段階弱くした場合は２回操作すると元の洗浄強さに戻ります。
  操作のたびに便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。

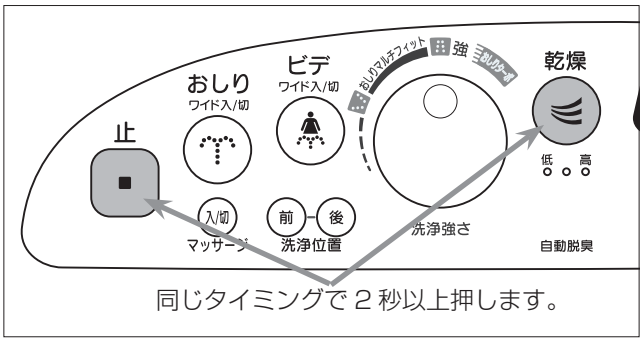
温風始動温度の切替えについて〈乾燥付の場合〉

温風温度を「高」または「低」から始まるようにすることができます。
お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方に便利です。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで2秒以上押し続けます。
（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅し、温風始動時の温風温度が順次切り替わります。）
※ 切替順は下図の通りです。

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを押したときの温度、切替り方		
		1回目	2回目	3回目
お買い上げ時の設定	**中**	高	低	中
1度目	**高**	中	低	高
2度目	**低**	中	高	低



同じタイミングで2秒以上押します。

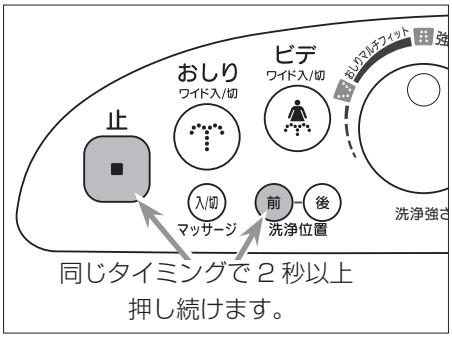
●元の始動温度に戻す場合は、止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで2秒以上押し続ける操作を繰り返します。合計3度目に元に戻ります。

フルオート便器洗浄開始時間について〈フルオート便器洗浄付の場合〉

フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約6秒後、自動的に便器洗浄を開始します。
この開始時間を、約15秒後に切り替えることができます。お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチと洗浄位置の前スイッチを同じタイミングで2秒以上押し続けます。
（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）
●元に戻すのも同じ方法で行います。



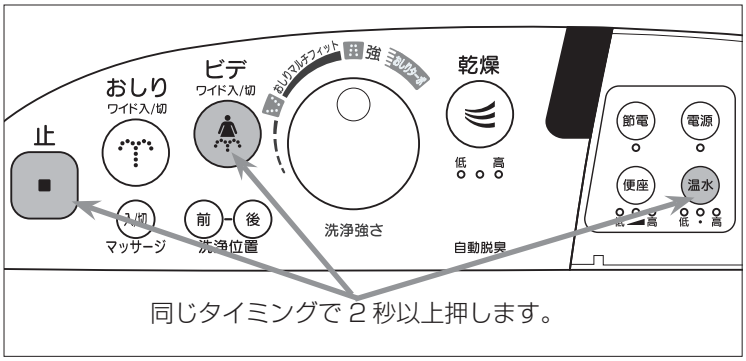
同じタイミングで2秒以上押し続けます。

チャイルドロック機能について

本体のスイッチ（おしり、ビデ、乾燥）に触れても、無効にするチャイルドロック機能が付いています。
小さなお子さまのいたずら防止などに有効です。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチとビデスイッチ、温水スイッチの3個を同じタイミングで2秒以上押し続けます。（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。
※ チャイルドロック機能が作動中でも別売のリモコンでの操作は可能です。リモコンと合わせてご使用になりますと便利です。



同じタイミングで2秒以上押します。

《知っておいていただきたいこと》

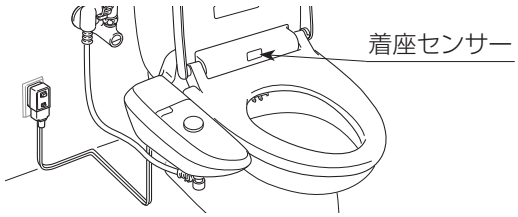
シャワーの温度について

●おしりまたはビデ洗浄を長時間使用しますとシャワーの温度がしだいに低下し、そのままさらに使用すると最後には水になります。
冬期には冷水（約 5℃）から高（約 40℃）になるまでに約 10 分間かかります。

●シャワーの温度は、スイッチの位置に合わせて一定の温度に調節しています。
温水タンク内制御温度
低 : 約 36℃、中 : 約 38℃、高 : 約 40℃。

着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥〈乾燥付の場合〉の各機能がはたらきません。



着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。

- **前にかがんだり、前寄りに座った場合**
  ※ 便座に深めに座る等、座り方を変えてみてください。
- **黒色や毛羽立った布地などの光が反射しにくい衣服を着ている場合**
  ※ センサーに手をかざす等、肌を検知させるようにしてください。
- **センサーに汚れや水滴が付着している場合**
  ※ 汚れや水滴等を取り除いてください。

はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません。〈乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、ご使用とともに消えます。

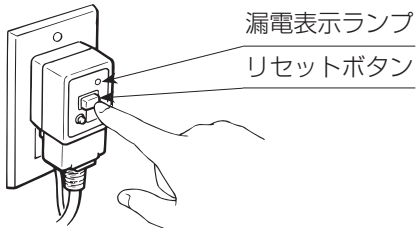
漏電表示ランプが点灯したとき。

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。また、電源プラグに水がかかると漏電表示ランプが点灯する場合があります。

漏電表示ランプが点灯したときは、

1. 電源プラグをコンセントから抜き、20 ～ 30 秒ほど間をおいて再び差し込みます。
2. リセットボタンを押してランプを消灯させます。

※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または (株)INAX メンテナンスへご連絡ください。



ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後や洗浄の前後、温水スイッチを入れたときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または (株)INAX メンテナンスへご連絡ください。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

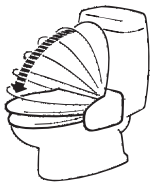
洗浄強さダイアルが最弱付近ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さダイアルが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。
このようなときは、洗浄強さを強くしてください。(☞ 13 ページ)

ゆっくり閉じる便座・便フタ。

便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

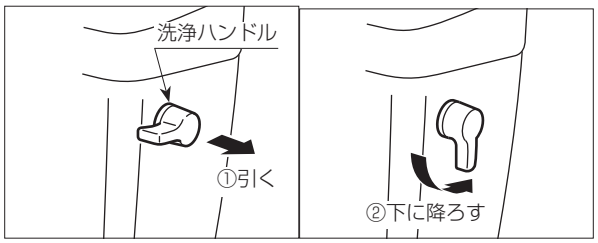
※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。



洗浄ハンドルが途中で止まったら。〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中、またはリモコン便器洗浄中に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、洗浄ハンドルが途中で止まってしまいます。そのままでは洗浄水が流れ放しになってしまいますので、以下の手順にしたがって洗浄ハンドルを元に戻してください。

(1) 洗浄ハンドルを引っぱりながら（矢印①）、下に降ろして（矢印②）洗浄水を止めます。
このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。



(2) 停電が終わりましたら、リモコンの「大」スイッチを押して作動させます。
本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。

便器のお手入れについて

便器（陶器部）のお手入れには、中性洗剤をお使いください。
塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤を使用すると、気化したガスにより、シャワートイレが故障・破損する恐れがあります。
トイレ用洗剤を使用するときは、早目に洗い流した後、便座・便フタは開けたままにしておいてください。
便器についた洗剤は確実に拭き取ってください。

省エネについて

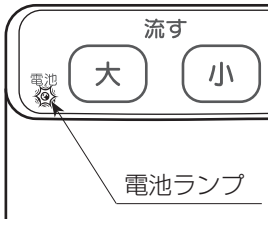
省エネのためには、以下の項目が有効です。

- ●使用後は便フタを閉じておきましょう。
- ●便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
  ※ ただし、指定のカバー（☞ 48 ページ）を使用し、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
- ●春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
- ●節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
- ●長時間の外出時など、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
  ※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。(☞ 33、34 ページ)

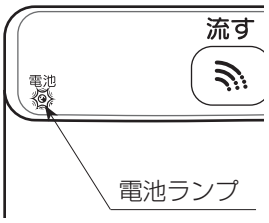
リモコンについて〈リモコン付の場合〉

電池の寿命が近づくと、リモコンの電池ランプが点滅します。
お早めに新しい電池に交換してください。
(電池交換は☞ 31 ページ)

大小便器洗浄の場合



大便器洗浄のみの場合



お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源スイッチを押して本体操作部の電源ランプが消灯していることを確認してください。

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除のしかた

●柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

●お手入れには INAX 純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をおすすめします。

市販の便座用洗剤などが使用できますが、中には適さない製品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。

別売品の購入方法については 49 ページをご覧ください。

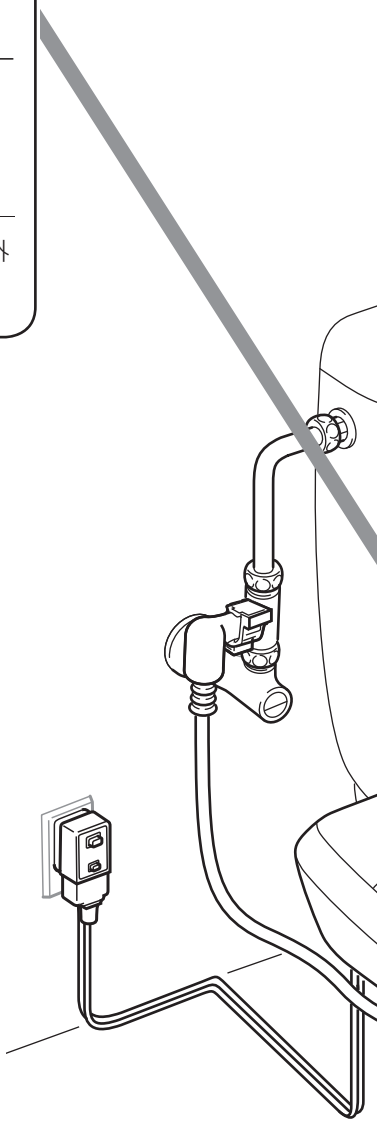
※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞ 25 ページ参照）また、本体を便器から外すことができますので、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 27 ページ参照）

注意 **●乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。**

※ 傷つきの原因になります。

●清掃中などに万一クリップが外れた場合、しっかりと留め直してください。

※ 漏水し、室内浸水の原因となります。



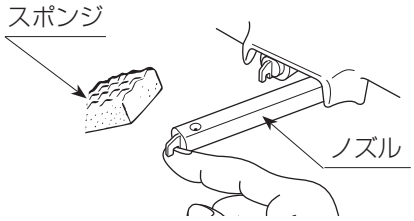
⚠ 警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。

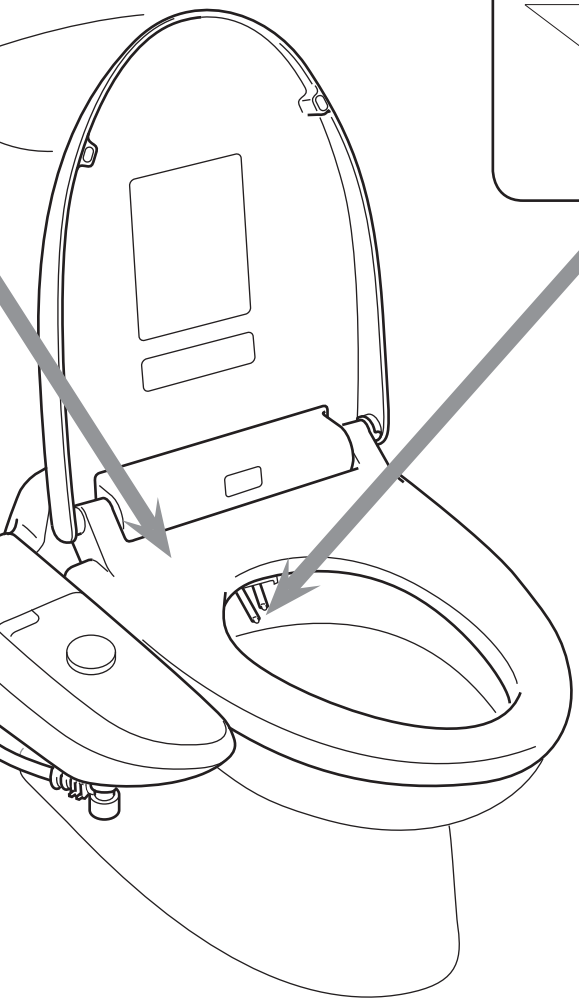
⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。
※プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。

ノズルのお掃除のしかた



ノズルを引き出し、シャワーが噴出する穴が汚れていたらスポンジ等で掃除してください。
※ ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。



抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバー・ダイアルに抗菌樹脂を、操作部のシートには抗菌シートを採用しています。

KILAMIC 抗菌商品について

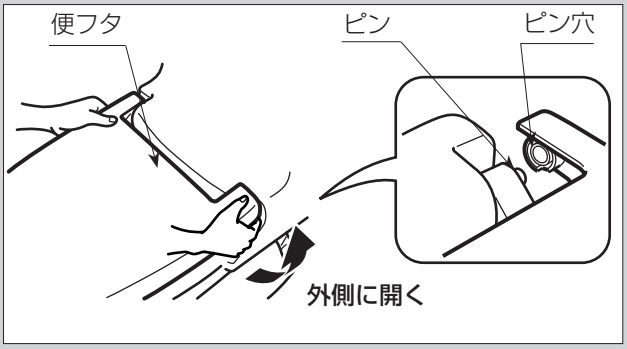
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌 JIS 規格（JISZ2801）から ISO 規格（ISO22196）になりました。

《便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分の掃除）》

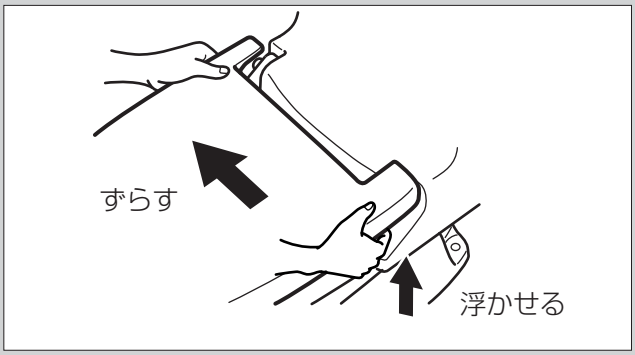
便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部をお掃除する時や便フタを丸洗いするのに便利です。

便フタの外しかた

1. 電源スイッチを押して電源ランプを消灯させます。
2. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



3. 便フタの右側を浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

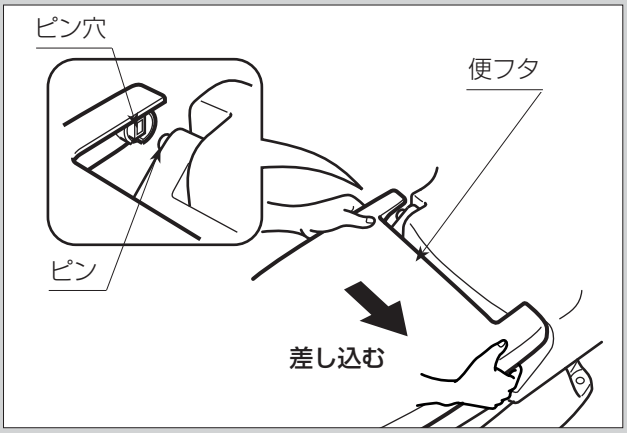


注意 強引に外そうとすると割れるなど破損の原因となります。

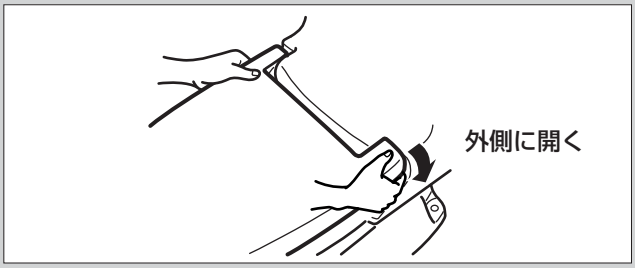
注意 **便フタを外したまま使用しないでください。**
※ 便フタを閉じた状態で外し、使用した場合は、おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥〈乾燥付の場合〉の各機能が作動しません。

便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



3. 電源スイッチを押して電源ランプを点灯させます。

《脱臭効果が弱くなった場合》

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

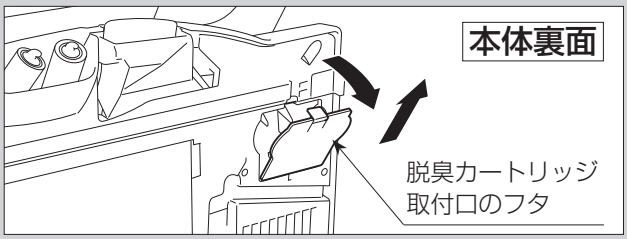
※別売部品の部屋暖房ユニットまたはプラズマクラスターイオンユニット（CW-K43、K43Q 型のみ）を付けている場合は、いったんそのユニットを取り外してから下記お手入れ方法で清掃してください。

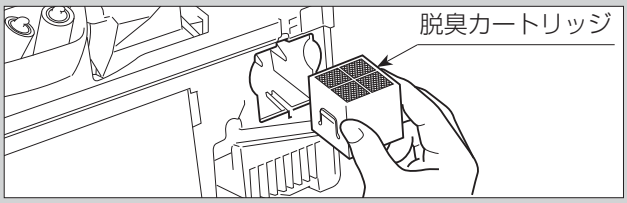
脱臭カートリッジのお手入れ方法

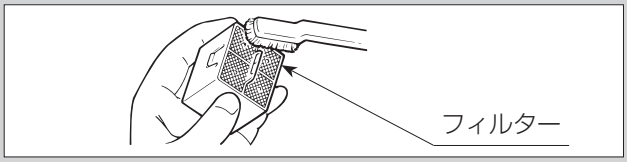
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 本体を便器から外します。
   (☞ 27 ページ参照)
3. 本体を立てて、脱臭カートリッジ取付口のフタを外します。
4. 脱臭カートリッジを引き抜きます。
5. フィルターのホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。

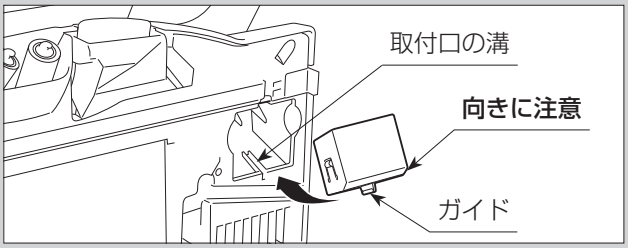
注意 脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。

6. 脱臭カートリッジのガイドを取付口の溝に合わせ、奥まで押し込みます。
7. 脱臭カートリッジ取付口のフタを取り付けます。
8. お手入れが終わったら、本体を元通りに取り付けます。
   (☞ 28 ページ参照)









■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約 7 年です。

※ 脱臭カートリッジの寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、49 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

⚠ 注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。
※ ケガの原因になります。

禁止

《本体で隠れた便器部分を掃除します》

〈本体スライド着脱の仕方〉

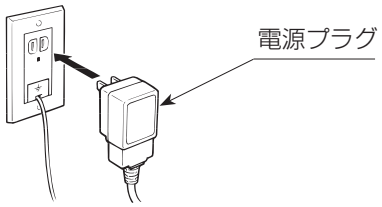
※ 日頃の汚れを手軽に掃除したいときに便利です。

※ 別売部品の部屋暖房ユニットまたはプラズマクラスターイオンユニット（CW-K43、K43Q 型のみ）を付けている場合は、本体スライド着脱ができません。

※ 分岐金具と本体の給水接続が、本体給水ホースではなく接続銅管による接続の場合は、本体を外して掃除することはできません。

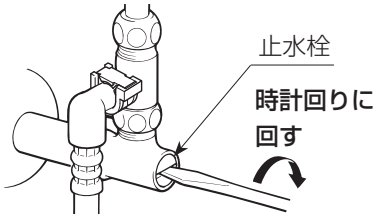
1．本体の外しかた

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
（注意 1. 参照）



2. 止水栓を閉めて給水を止めます。

※ 止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



3. ① 本体右側にあるロックレバーを引きます。

② **手前に少し持ち上げるように**スライドさせて、本体を便器から外します。（注意 2. と 3.、4. 参照）

※ 外すときは、便座・便フタを持たずにゆっくりスライドさせてください。また、無理にこじらないでください。

4. 本体を便器リム部に静かに置きます。

注意

1. 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
※温水タンクのカラダキによって発煙・発火の恐れがあります。

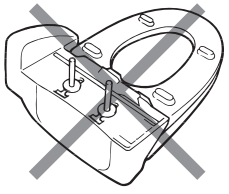
2. 温水タンクの水は、必ず抜いてください。（☞ 32 ページ）
※温水タンク内に水が入っていると、漏電の恐れがあります。

3. コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。
※破損や漏水の恐れがあります。

4. 本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。
※漏水・故障の原因となります。

5. 本体は、電源を入れたまま絶対に裏返さないでください。
また、床に置かないでください。
※故障の原因になります。

●裏返さないで！
●床に置かないで！



●引っぱらないで！

2. 掃除のしかた

●本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。

※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書にしたがってください。

⚠ 警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電･火災の恐れがあります。

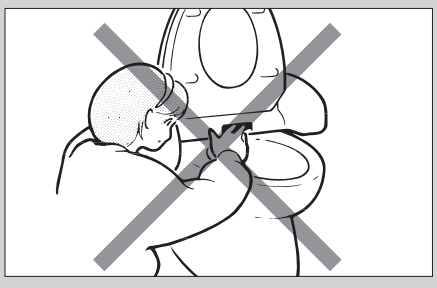
注意

●便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水拭きしてから本体を取り付けてください。

※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。

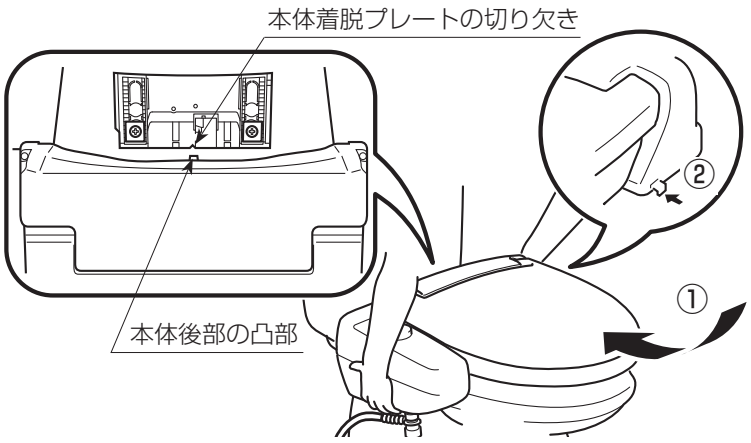
●開口部やノズル付近に手や物を突っ込まないでください。

※ 手をケガしたり、故障の原因になります。



3. 本体の組付けかた

1. シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの切り欠きと本体後部にある凸部を合わせます。



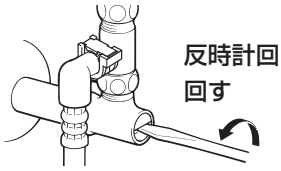
2. **手前を少し浮かせるようにして**、本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで奥にスライドさせ、ロックレバーを押し込んで固定します。

※ 奥までしっかりスライドしないと、ロックレバーは押し込めません。

固定後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認します。

3. 止水栓を元の位置まで開いて、給水します。

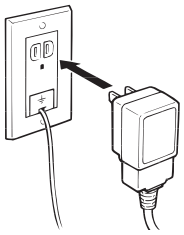
※各部に漏水がないか確認します。



4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。このとき電源ランプが点灯することを確認します。

※ 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。

(☞ 9 ページ)



5. 取付けが完了したら**必ず試運転を行ってください。**

(☞ 9、10 ページ)

注意

●本体が確実に固定されていること（本体のロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。

※ 固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。

●ホース類を無理に曲げないでください。

※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

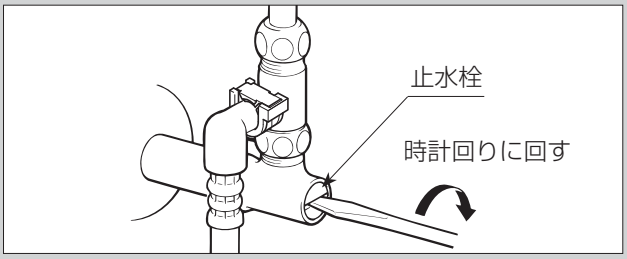
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

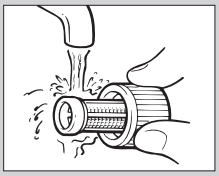
※ 止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



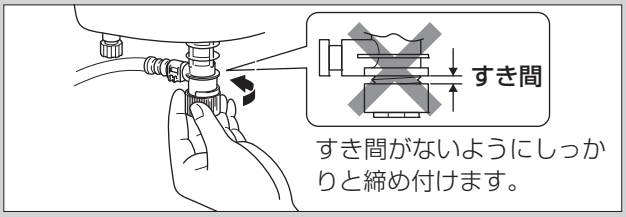
2. 本体左下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

3. ストレーナー部やＯリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



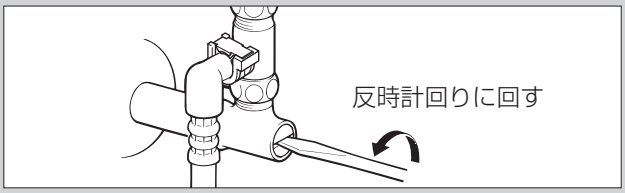
4. ストレーナーを確実に取り付けます。



すき間がないようにしっかりと締め付けます。

5. 止水栓を元の位置まで開きます。

※ ストレーナーから漏水がないことを確認してください。



6. 最後に必ず試運転を行ってください。

（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがＯリングに付着していないことを確認してください。
  ※ Ｏリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

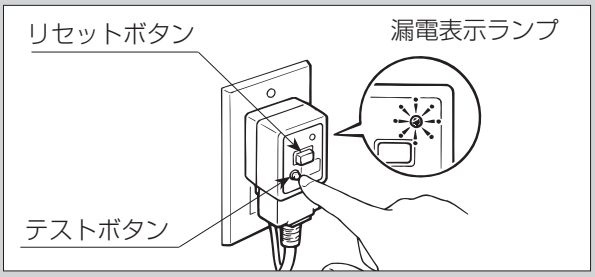
《電源プラグ（漏電保護機能付）の点検》

電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。
（目安としては月に 1 ～ 2 回程度です。）

電源プラグの点検方法

1. **電源プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認してください。**

2. **リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯することを確認してください。**



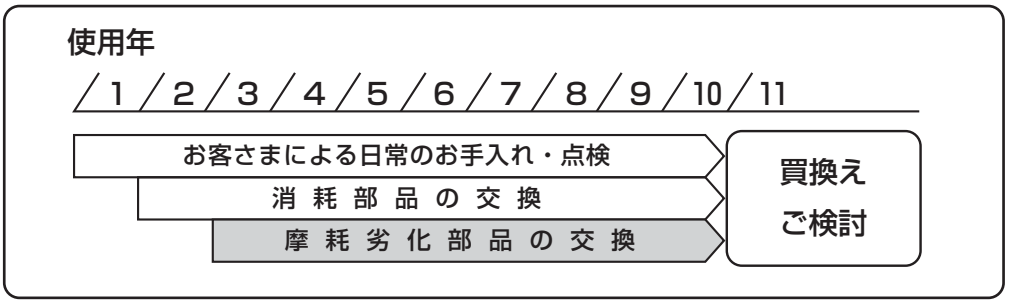
注意 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。

《定期的な部品交換のお願い》

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例
  例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファン等
- 部品の交換については、お求めの取扱店または（株）INAX メンテナンスにご依頼ください。
  製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉



《リモコンの電池交換〈リモコン付の場合〉》

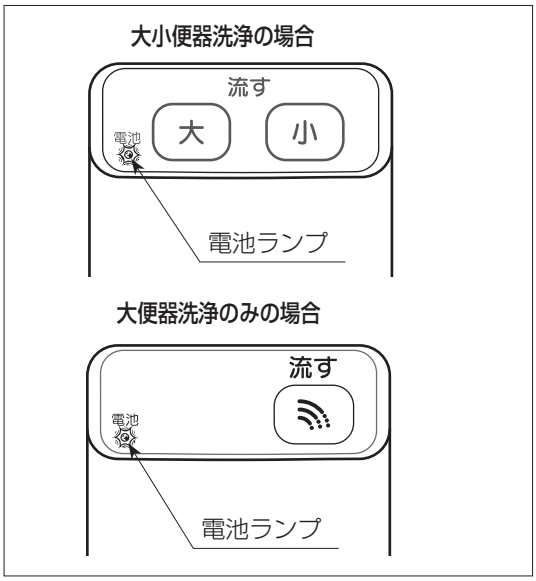
電池の寿命が近づくと、電池ランプが点滅します。

※通常は消灯しています。

※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。

※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）等により、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

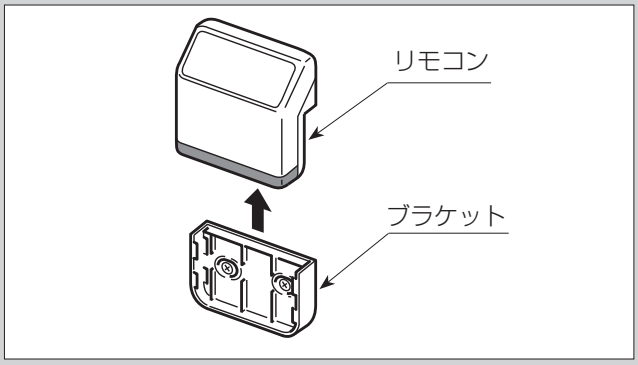


注意

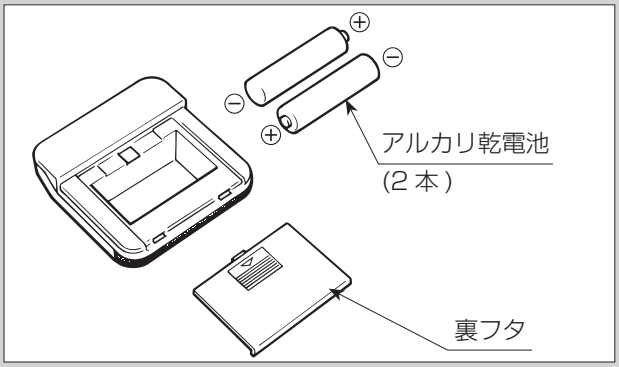
- **電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**
- **アルカリ乾電池を使用してください。**

リモコン電池の取替方法

1. リモコンを上に持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V 単三、2 本）に取り替えます。



3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

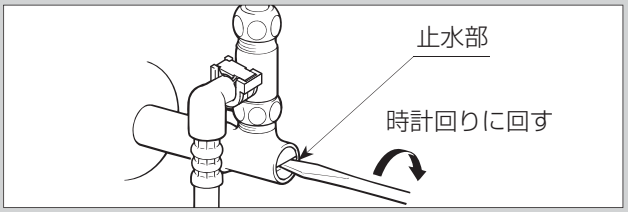
長期間使用しない場合

以下の場合は水抜きを必ず行い、止水栓を閉め、電源を抜いてください。
- 旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき（水が汚れて詰まりの原因になります）。
- 別荘などで使用しないとき（冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります）。

水抜きおよび電源の取り外し

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

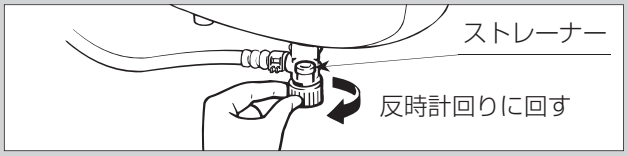
※ 止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



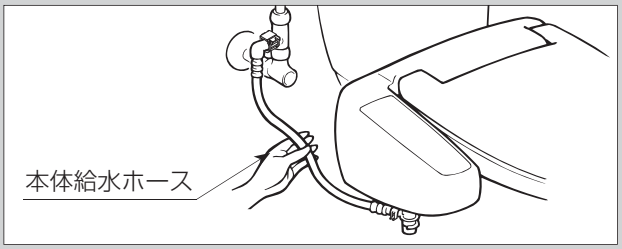
2. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3. 本体給水ホースから水を抜きます。

① ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
② ストレーナーを外し、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除いてください。

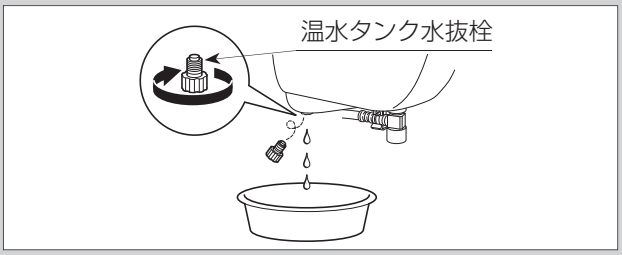


③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



4. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。

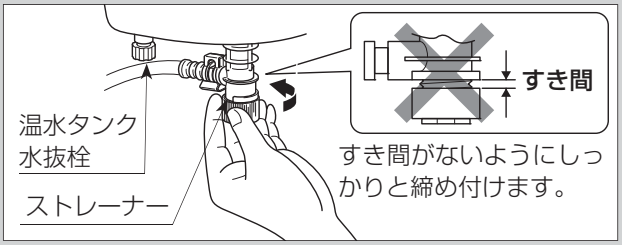
※ 水抜き完了後、水抜栓は確実に取付け直してください。



5. 着座センサーを手でおおっておしりスイッチを押します。（本体内の水を抜きます。）

約５秒後、止スイッチを押してください。

6. ストレーナーと温水タンク水抜栓を確実に締め、電源プラグをコンセントから抜きます。



7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
  ※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、電源を切り、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

- **本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
  ※本体給水ホースが破損する恐れがあります。
- **凍結箇所によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、ひんぱんに様子をうかがってください。**

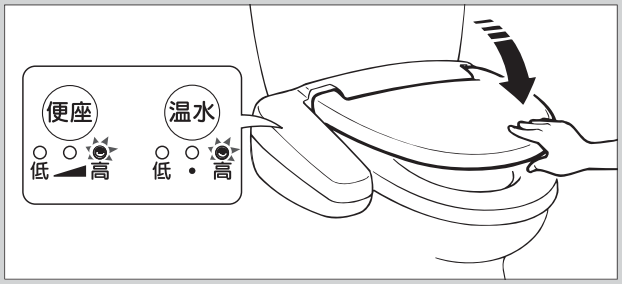
冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。凍結破損を防止するために必ず水抜きを行ってください。
電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておいてください。また、節電機能は解除してください。

一般的な凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

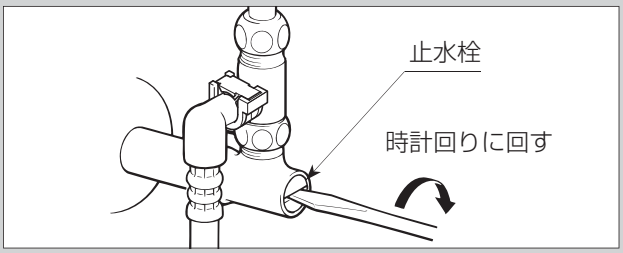


2. 室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

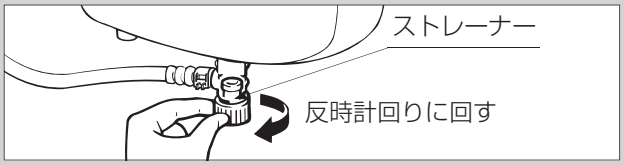
※ 止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



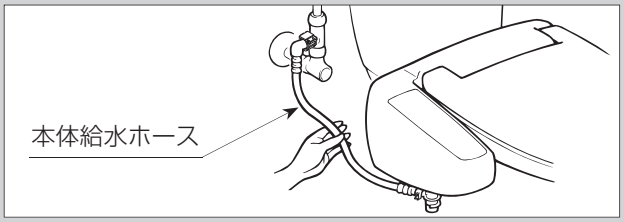
（次ページの注意参照）

2. 本体給水ホースから水を抜きます。

① ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
② ストレーナーを外し、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除いてください。



③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



④ 水抜き後、ストレーナーをしっかりと締め付けます。

3. 着座センサーを手でおおっておしりスイッチを押します。（本体内の水を抜きます。）

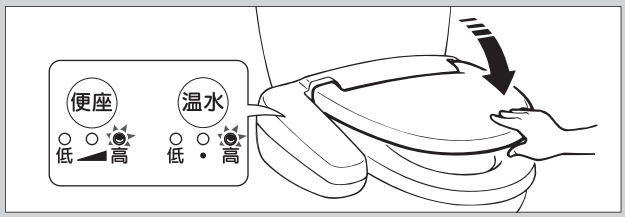
約５秒後、止スイッチを押してください。

4. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

流動式便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。



2. 便器本体の流動ハンドルを操作します。

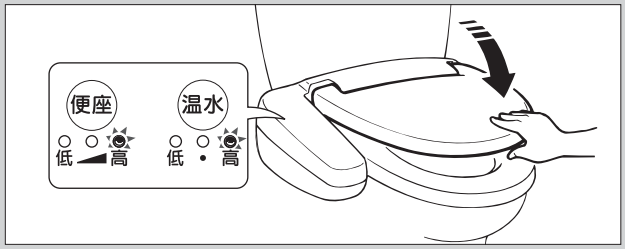
便器本体の流動ハンドルを操作して、タンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

3. 室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、「一般的な凍結防止方法」と同様にシャワートイレ内の各部の水を抜いてください。

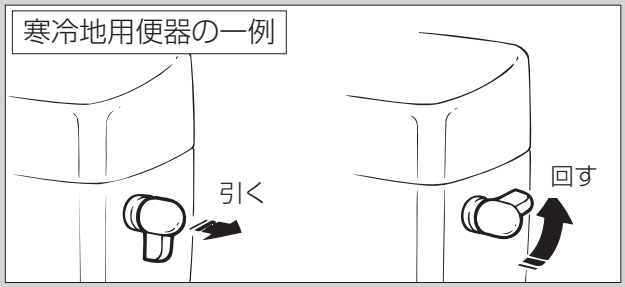
水抜式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。
節電を行っている場合は、節電を解除します。



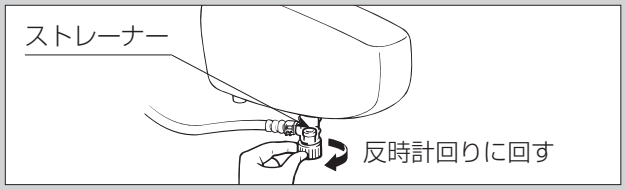
2. 水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。

3. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

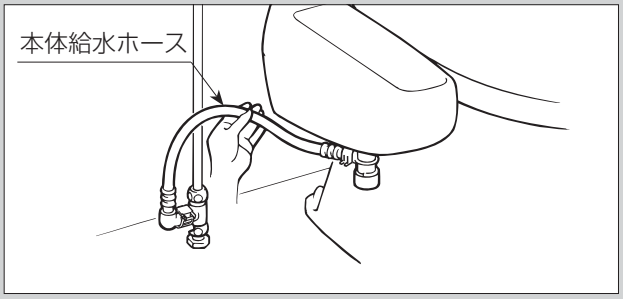


4. 本体給水ホースから水を抜きます。

① ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
② ストレーナーを外し、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除いてください。

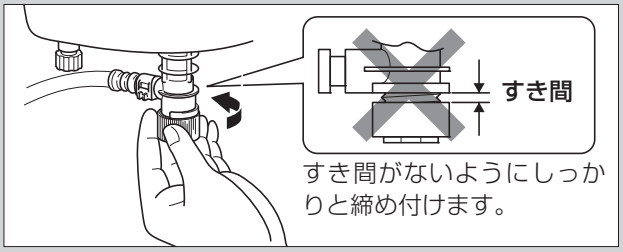


③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



5. 着座センサーを手でおおっておしりスイッチを押します。（本体内の水を抜きます。）
約５秒後、止スイッチを押してください。

6. 水抜き後、ストレーナーをしっかりと締め付けます。



7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
  ※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

- **本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
  ※本体給水ホースが破損する恐れがあります。
- **凍結箇所によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、ひんぱんに様子をうかがってください。**

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または㈱ INAX メンテナンスにご相談ください。

全機能

現　　象	原　　因	処　　置
すべての機能が動作しない (電源ランプが点灯しない)	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源スイッチが「切」（電源ランプ消灯）になっていませんか。	電源スイッチを押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。 （☞ 11 ページ）
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。（☞ 9 ページ）
	漏電していませんか。（漏電表示が点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。（☞ 21 ページ）それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
スイッチを押しても動かない	便フタを（閉じた状態で）外していませんか。	便フタを開けた状態で再度外してください。 （☞ 25 ページ）
	チャイルドロック機能が働いていませんか。	チャイルドロック機能を解除します。 （☞ 20 ページ）

おしり・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。 （☞ 9 ページ）
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。 （☞ 29 ページ）
	着座センサーに汚れや水滴などが付着していませんか。	汚れや水滴などを取り除きます。 （☞ 21 ページ）
	水道圧が低くないですか。洗浄強さダイアルが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さダイアルを「強」側に回します。 （☞ 13 ページ）
	着座センサーが入っていますか。	便座に深く座るなど、座り方を変えます。 （☞ 21 ページ）
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手などをかざします。 （☞ 21 ページ）
	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。（☞ 9、10 ページ）

おしり・ビデ洗浄（続き）

現　象	原　因	処　置
シャワーが温かくない	温水スイッチが適当な温度に調節されていますか。	温水スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 11 ページ）
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。（☞ 21 ページ） 貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 17 ページ）

温風乾燥〈乾燥付の場合〉

現　象	原　因	処　置
温風が出ない	着座センサーが入っていますか。	便座に深く座るなど、座り方を変えます。（☞ 21 ページ）
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手などをかざします。（☞ 21 ページ）
温風が暖かくない	乾燥スイッチが適当な温度に調節されていますか。	乾燥スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 15 ページ）
		使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	再度、乾燥スイッチを押します。（☞ 15 ページ）

脱臭

現　象	原　因	処　置
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーに紙が張りっぱなしになっていませんか。	着座センサーの紙を取り除きます。
	不適切な布カバーを付けていませんか。（着座センサーに布が掛かっていませんか。）	布カバーを外して使用するか、当社指定の布カバーを使用してください。（☞ 48 ページ）
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。（☞ 15 ページ）
脱臭効果が弱くなった。（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリ等が付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除してください。（☞ 26 ページ）
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。（☞ 26 ページ）

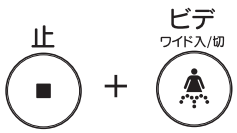
暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置
便座が暖かくない	便座スイッチが適当な温度に調節されていますか。	便座スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 12 ページ）
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 17 ページ）
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。（☞ 19 ページ）

フルオート便器洗浄〈フルオート便器洗浄付の場合〉

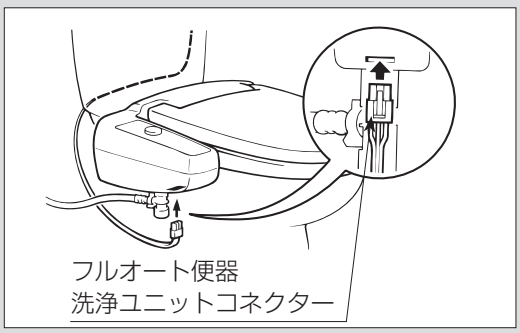
現　　象	原　　因	処　　置
自動便器洗浄時： ● 自動で動かない ●「大」·「小」時、逆方向に動く ● 動作中に異音がする	自動便器洗浄の設定が解除されていませんか。	自動便器洗浄を設定します。（☞ 18 ページ）
	自動便器洗浄ユニットのコードが外れていませんか。	コネクターを接続します。（下記参照）
	フルオート便器洗浄の設定（モード）がタンクに合っていない。	モードの設定変更を行い、洗浄ハンドルの動きを変え、お使いのタンクと合った設定にするか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。（下記参照）

■フルオート便器洗浄モード設定の変更方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

「大小洗浄」⇆**「大のみ洗浄」**の切り替え操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	**「止」**スイッチ ＋ **「ビデ」**スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。 
「反時計方向」⇆**「時計方向」**の切り替え操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	**「おしり」**スイッチ ＋ **「温水」**スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。

■フルオート便器洗浄ユニットコネクターの接続方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

1. 電源を「切」にします。
2. シャワートイレ本体操作部の下側にあるコネクターにフルオート便器洗浄ユニットコネクターを接続します。
3. 電源を「入」にします。



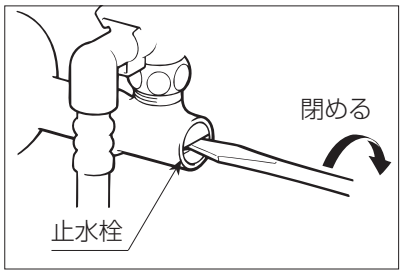
《フロート弁・鎖の調節》

洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れなかったり、流れっ放しなどの不具合は、タンク内にあるフロート弁・鎖の調節不足が考えられます。以下の要領で調節してください。

タンクフタの取外し

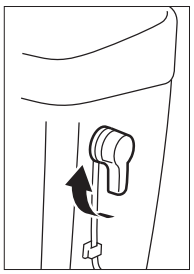
(1) 止水栓を⊖ドライバー等で閉めます。

※ 止水栓は調節してありますので、閉める際におおよその位置を記憶し、開けるときの参考にしてください。



(2) 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

※洗浄水が流れない場合は、タンクフタを外し、中の水を汲み出すか、フロート弁の鎖を引っ張って水を流し出します。

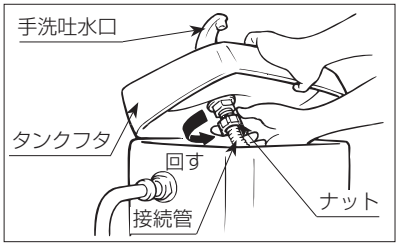


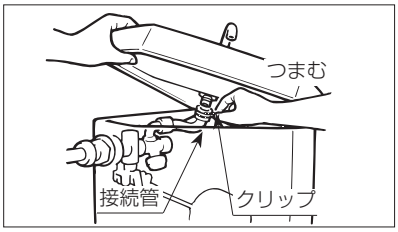
(3) タンクフタをタンクから外します。

●手洗吐水口付タンクフタの取外し

手洗吐水口付は、ゆっくりとフタを持ち上げて中を見て、手洗吐水口と接続管がナットか、またはクリップで接続していることを確認します。
ナットやクリップをゆるめ、フタから接続管を外して、フタを取り外してください。

※ ナットやクリップがない場合もあります。

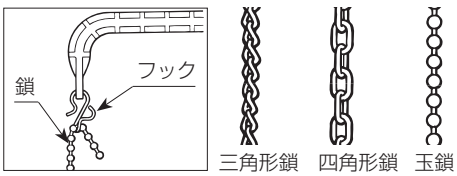




注意 手洗吐水口付の場合は、フタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。トイレ内を濡らす恐れがあります。

フロート弁・鎖の調節

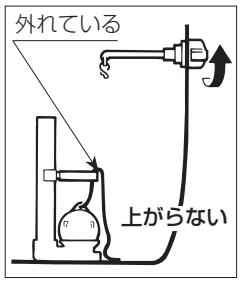
(1) タンクフタを外したら、タンク内の鎖の形状を確認してください。
鎖の形状により、調整方法が異なる場合があります。



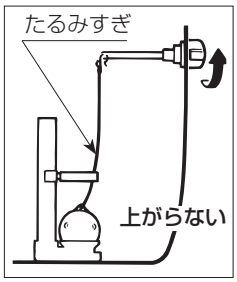
(2) フロート弁・鎖の状態を見ます。

洗浄水が流れない場合

●鎖が外れている

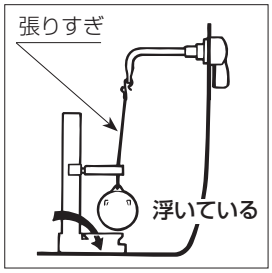


●鎖がたるんでいる



流れっ放しになる場合

●鎖が張りすぎている

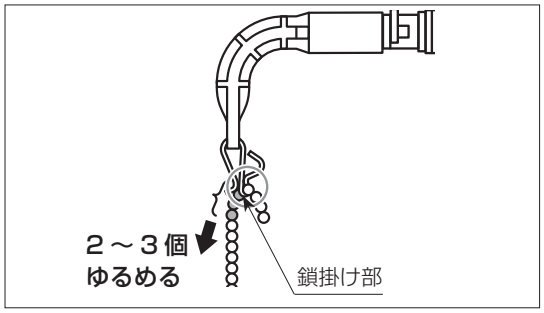


鎖の調節を行います。

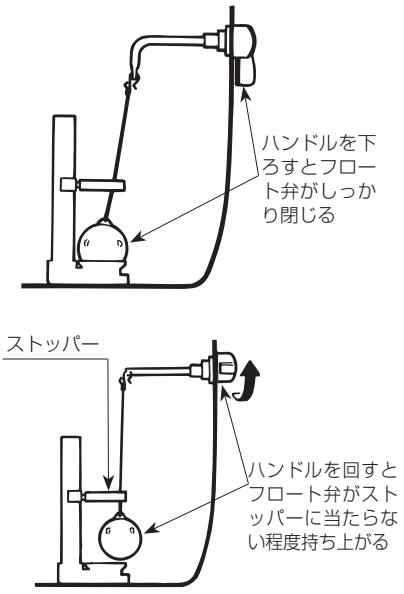
① レバーの先端を垂直にたらしたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

② 鎖を合わせた位置からゆるめます。玉鎖・三角形鎖は２～３個程度、四角形鎖は１個程度

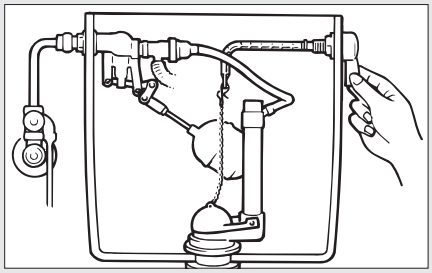
③ 洗浄ハンドルを操作してレバーおよびフロート弁がスムーズに動くことを確認します。



適当な長さ

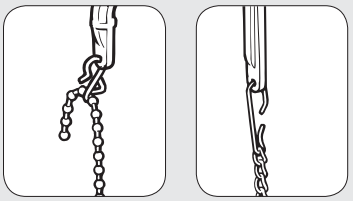


※ 1: ストッパーがないタイプは、フロート弁が最も持ち上がる位置まで鎖を引き上げます。



※ 2: 鎖の種類によって、ゆるめる個数がちがいます。

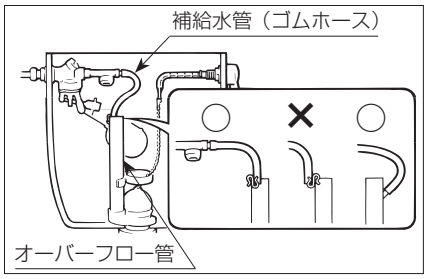
- ●三角形、玉鎖　：2～3個程度
- ●四角形鎖　：1個程度
- ●ストッパーがないタイプ　：3～4個程度



注意 鎖やレバーが浮玉等他のものに触れたり、引っかかりがないようにしてください。
十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

タンクフタの取付け

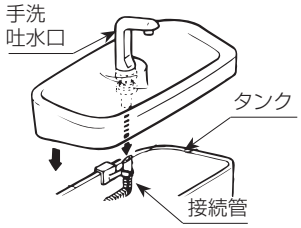
(1) **補給水管がある場合**、オーバーフロー管に固定されていることを確認します。



(2) タンクフタをのせます。手洗い吐水口付の場合は以下をご覧ください。

●手洗吐水口付タンクフタの取付け

差し込むタイプ

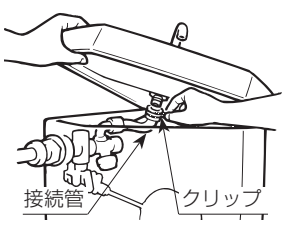


吐水口と接続管を合わせて、ゆっくりとタンクフタを下ろして差し込みます。

ナットで接続するタイプ

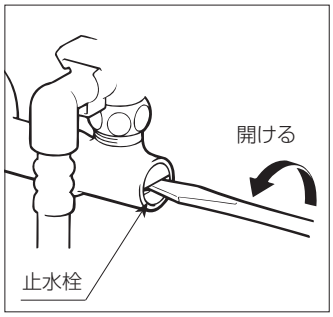
吐水口に接続管のナットを回して、接続します。

クリップで固定するタイプ



あらかじめクリップを接続管にはめておき、吐水口に接続管を差し込んで、クリップでしっかりと固定します。

(3) 止水栓を元の位置まで開けます。



(4) リモコンの「流す」スイッチを押したり、本体の洗浄ハンドルを回して、正常に洗浄水が流れることを確認します。

※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる場合は、再度鎖を調整してください。(☞ 38 ページ)

注意 水がタンクから漏れたり、水が出ない場合は、すぐに止水栓を閉めてタンクフタを取り付け直してください。

リモコン

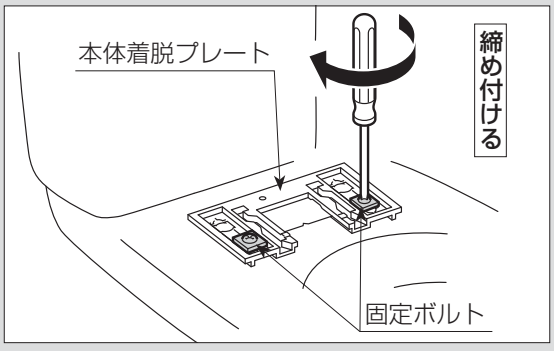
現　　象	原　　因	処　　置
リモコンで操作できない	電池が消耗していませんか。（電池ランプ点滅）	新しい電池に交換します。（☞ **31** ページ）
	電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。（☞ **31** ページ）
	リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。
	インバータ照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。

その他

現　　象	原　　因	処　　置
本体がガタつく ずれる	本体がロックされていますか。	本体を奥側に押してロックさせてください。（☞ **28** ページ）
	本体着脱プレートがゆるんでいませんか。	本体着脱プレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直します。（下記参照）
本体から゛ググッ゛と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●電源スイッチを入れたとき ●おしり・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。洗浄強さの調整や洗浄位置の調整に、異常がなければ問題ありません。	
電源ランプが点滅している	温水・便座のいずれかの機能に不具合が生じている。 または点検時期が来ている。	**電源スイッチを「切」にしても点滅している場合は、故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。** **電源スイッチを「切」にして消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。**

■本体着脱プレート固定方法

1. 本体をスライド着脱で便器から外します。（☞ **27** ページ）
2. プラスドライバーを使って、本体着脱プレート内にある 2 本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
3. 本体を元に戻します。（☞ **28** ページ）



その他（続き）

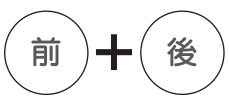
現　　象	原　　因	処　　置
温水または便座の表示ランプが点滅している	点滅している機能に不具合が生じている。	**故障していますので、コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。**
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）	故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっているので、そのままご使用ください。	
漏水している	ストレーナーがゆるんでいませんか。	ストレーナーを締めてください。 （☞ 29 ページ）
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除してください。 （☞ 29 ページ）
	温水タンク水抜栓がゆるんでいませんか。	温水タンク水抜栓を締めてください。 （☞ 32 ページ）
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふき取ってください。 また換気を十分にしてください。
お買い上げ時の設定に戻したいとき	〈より快適な機能〉で変更した機能を、全てお買い上げ時の設定に戻します。	洗浄位置「前」と洗浄位置「後」スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けてください。
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふきとってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。

■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。「より快適な機能」等で設定を変更し、全ての機能をお買い上げ時の設定に戻したい場合は、**洗浄位置「前」と洗浄位置「後」スイッチを同じタイミングで 2 秒以上**押し続けて下さい。（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）

機能説明	お買い上げ時の設定
脱臭の入 / 切	脱臭する
スーパーノズルクリーニング入 / 切	洗浄前にクリーニングする
スーパー節電の入 / 切	スーパー節電しない
着座時のみ便座ヒーターを切る	切らない
洗浄強さ「弱」の設定	4 段階中の最強
乾燥スイッチの押した順番	「中」→「高」→「低」
フルオート便器洗浄の開始時間	6 秒
チャイルドロック入 / 切	チャイルドロックしない

洗浄位置



同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または（株）INAX メンテナンスまでご連絡ください。

1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web でのご登録、または専用ハガキに必要事項をご記入の上 INAX までご返送ください。

詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。

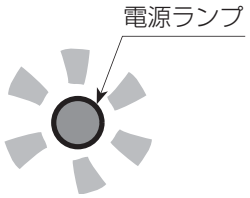
※ 一般家庭以外でご使用のオーナーさまは Web のみのご登録となります。

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）機能について

製品のご使用を開始して約 10 年が経過すると、電源ランプが連続して1秒間に約5回の点滅を繰り返します。

この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障が無いかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。



INAX では安全点検（有料）をご用意しております。

この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-1794-00）

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、㈱INAX メンテナンスにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願い致します。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合

次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または INAX メンテナンス 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □→ ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は弊社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

4. 点検の修理、お申し込みは

お求めの取扱店または
(株)INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。

(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便：１回 / 日・人、小便男性：４回 / 日・人、小便女性：４回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

参考

経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（35 ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または (株)INAX メンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

■他社製タンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

タンク内の部品による不具合・故障において、フルオート洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。

※ フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品（鎖・フロートゴム等）は、保証の対象外となります。

⚠ 警告

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

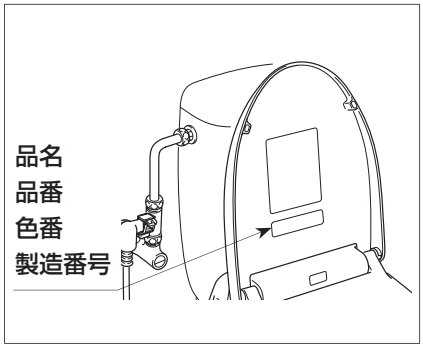
■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏または製品本体に張ってあるシールをご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより３年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により電源ランプが点滅したら

定期点検については、㈱ INAX メンテナンスまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問い合わせは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～18:00
　　土・日・祝日10:00～18:00
　　（夏期、年末年始の休みは除く）

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

お求めの取扱店または
（株）INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

■延長保証について

通常、保証期間は２年間ですが、「所有者登録」されますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、アンケートにお答えいただいて郵送してください。
※ 詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※ 一般家庭以外でのご使用は、Web でご登録いただいた場合のみ１年間延長され、計３年間保証になります。

仕様

タイプ		CW-K43 型 乾燥付	CW-K41 型 乾燥無
給水方式		水道直結式	
使用水道圧範囲		0.06 ～ 0.75MPa	
定格電源		AC100V　50/60Hz	
定格消費電力		460W	
商品寸法		幅 505 ×奥行 555 ×高さ 221mm	
商品質量		約 6.0kg	
おしり・ビデ洗浄	温水タンク・容量	貯湯式・1.40L	
	ノズル	おしり・ビデ専用オートスライド式	
	ノズル穴	おしり用：φ 1.8 × 1 ヶ　ビデ用：φ 1.0 × 10 ヶ	
	おしり洗浄面積	φ 4 ～ φ 15	
	おしり洗浄吐水量	約 0.5 ～ 1.5L/ 分（無段階調節）※1	
	ビデ洗浄吐水量	約 0.5 ～ 1.5L/ 分（無段階調節）※1	
	温水ヒーター容量	400W	
	温水タンク内制御温度	切（水温）・低（約 36℃）・中（約 38℃）・高（約 40℃）	
	安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ 空だき防止フロートスイッチ・転倒検知スイッチ	
乾燥	風量	0.35m³/ 分	
	温風ヒーター容量	0・120・240W	
	温風温度調節	低（室温）・中・高	
	安全装置	温度ヒューズ	
便座	ヒーター容量	45W	
	表面温度	切（室温）・低（約 28℃）～高（約 36℃※2）	
	温度調節	6 段階切替（マイコン制御）	
	安全装置	温度ヒューズ	
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式	
	脱臭能力	着座時：0.11m³/ 分 アフター脱臭時：0.14m³/ 分	
	脱臭カートリッジ寿命	約 7 年	
節電機能		スーパー節電（24 時間節電）・ワンタッチ節電（8 時間節電）	
省エネ区分		貯湯式	
年間消費電力量※3		183（248）kWh/ 年	
電源コード		有効長さ 1.0m（漏電保護機能、アースコード付）	
使用温度範囲		0 ～ 40℃	
その他の機能		●着座センサー ●本体スライド着脱 ●スーパーノズルクリーニング ●電源スイッチ ●ターボ洗浄 ●かるがるダイアル ●ワイド洗浄・洗浄位置調節	●便座・便フタスローダウン ●便フタワンタッチ着脱機構 ●ノズルオートクリーニング ●便座ヒーターオート OFF ●マッサージ洗浄 ●大型兼用（サイドライン）便座 ●フルオート便器洗浄 (K43Q、K41Q)

※ 1：給水圧 0.2MPa のとき。

※ 2：省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃にしています。
使用環境等によっては、便座が冷たいと感じる場合があります。トイレを使用しないときは、便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

※ 3：省エネ法（2012 年度基準）に基づいた測定値。( ) 内は、タイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量。

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

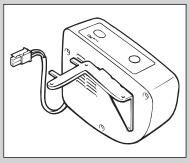
別売品のご案内

INAX では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■プラズマクラスターイオンユニット（品番：CWA-65）

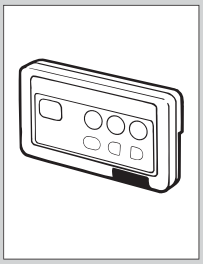
イオンを放出して、臭いやカビ菌を抑えたり、室内をリフレッシュします。



※ 部屋暖房ユニットとの併用はできません。
※ CW-K41、K41Q 型には取り付けできません。
※ CW-K43、K43Q 型にセットした場合、本体スライド着脱ができません。

■リモコン（品番：CWA-9）

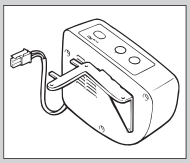
無理のない、楽な姿勢で操作できます。



※ 温風乾燥無では、乾燥スイッチを押しても温風は出てきません。
※ チャイルドロック機能をご利用の際は、合わせてご使用になりますと便利です。

■部屋暖房ユニット（品番：CWA-30A）

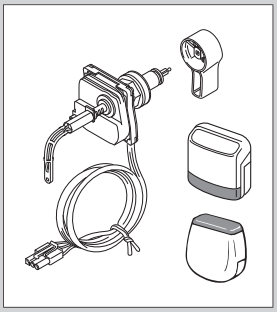
スイッチ一つでトイレ室内を暖房します。



※ プラズマクラスターイオンユニットとの併用はできません。
※ CW-K41、K41Q 型には取り付けできません。
※ CW-K43、K43Q 型にセットした場合、本体スライド着脱ができません。

■流せるもん（品番：CWA-66 または CWA-67A）

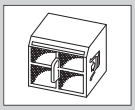
便座から立ち上るだけで便器洗浄を行います。もちろんリモコンでも操作できます。



※ 便器によっては、取付けできない場合もあります。
※ CW-K43Q、K41Q 型には取り付けできません。

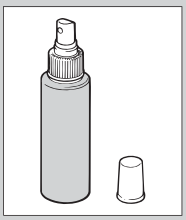
■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。
ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞ 26 ページ）



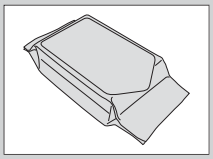
■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
（☞ 23 ページ）



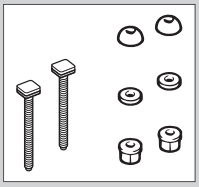
■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36）

樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。
（☞ 23 ページ）



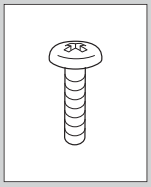
■ 本体取付ボルト　2 本セット（品番：RK-122）

下からナットで締め付けるプラスチック製ボルトと六角ナットです。本体スライド着脱をできなくする場合、本体着脱プレート固定ビス（H20-648）と一緒にご購入ください。



■ 本体着脱プレート固定ビス（品番：H20-648）

M4 × 16 のナベ小ねじです。本体着脱プレート（☞ 40 ページ）をシャワートイレに固定するために使います。



■シートカバーと便フタカバーは、同梱の「水まわりグッズ通販カタログ」をご参照ください。

シートカバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。
他社製品や不適切なカバーによっては、便座が立たなかったり、着座センサーが入りっ放しになったりして、不具合が生じる場合があります。

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めのシャワートイレ取扱店でご購入ください。

●宅配サービスを利用される場合

㈱ INAX メンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

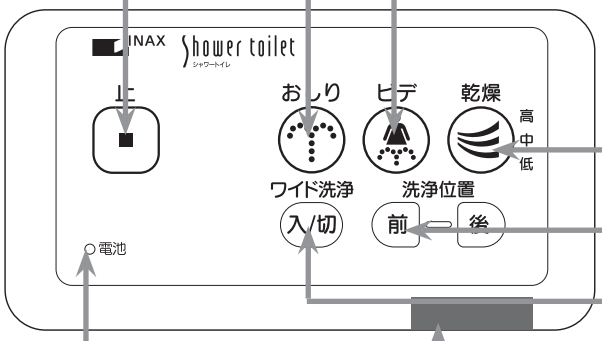
ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　　9：00 ～ 17：00（夏期・年末年始の休みを除く）

●インターネットを利用される場合

下記ホームページアドレスにアクセスし、商品をお求めください。
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/aftersupport/（24 時間受付）

リモコン（別売品）の取扱方法

■操作部のなまえとご使用方法



止
●おしり洗浄●ビデ洗浄
●乾燥の動作が止まります。

おしり
おしりを洗うときに使用します。

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。

注１
乾燥〈乾燥付の場合〉
ぬれた部分を乾かすときに使用します。

洗浄位置
洗浄位置を調節します。

電池切予告ランプ
電池の寿命が近づくと点滅します。（下記参照）

リモコン送信部

ワイド洗浄
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

●おしり洗浄、ビデ洗浄の水量調節は、操作部の洗浄強さダイアルで行ってください。

●スイッチは一度押せば、おしり・ビデ洗浄は２分間、温風乾燥は４分間作動しますので、押し続ける必要はありません。

●温風温度「高」・「中」・「低」は、操作部の表示ランプに表示されます。

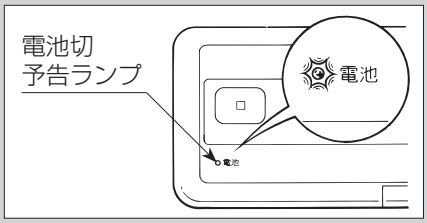
●本体がリモコンの信号を受信すると、操作部の温水の「低」が点滅します。

●チャイルドロック機能をご利用の際は、合わせてご使用になりますと便利です。

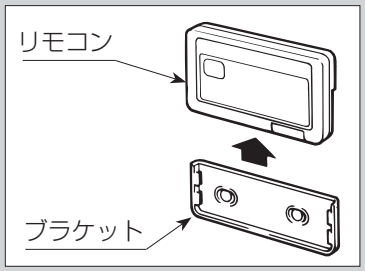
注１：乾燥スイッチは、**乾燥付シャワートイレ**専用のスイッチです。
乾燥無シャワートイレとの組み合わせの場合は、乾燥スイッチを押しても作動しませんのでご注意ください。

■リモコン電池の取替方法

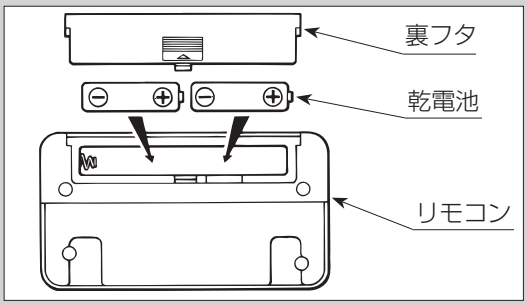
リモコンの電池の寿命が近づくと、電池切予告ランプが点滅します。
※ 通常は消灯しています。
※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。
※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）等により、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。
下記の要領で新しい電池に取り替えてください。



1. リモコンを上に持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V 単三、２本）に取り替えます。



3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

注意
●電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
●アルカリ乾電池を使用してください。

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　10:00～18:00
（夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
INAXメンテナンス修理受付センターへ

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

年　月　日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社INAX

〒479-8585　愛知県常滑市鯉江本町5-1
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/

GCW-1238A(10030)